JIS

# 給水栓

JIS B 2061：2006

（JVMA）

平成 18 年 6 月 20 日　改正

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|
| （委員会長） | 大　園　成　夫 | 東京電機大学 |
| （委員） | 永　壽　伴　章 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
| | 岡　野　正　敏 | 社団法人日本バルブ工業会 |
| | 高　辻　利　之 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
| | 桑　田　浩　志 | 有限会社桑田設計標準化研究所 |
| | 小　林　正　彦 | 社団法人日本工作機械工業会 |
| | 土　屋　孝　夫 | 社団法人自動車技術会 |
| | 飛弾野　文　英 | 日本工具工業会 |
| | 下　条　光　則 | 社団法人日本ベアリング工業会 |
| | 前　田　次　啓 | 社団法人日本ばね工業会 |
| | 丸　山　一　男 | 工学院大学 |
| | 望　月　正　紀 | 社団法人日本ねじ工業協会 |

主　務　大　臣：経済産業大臣　　制定：昭和 25.12.15　　改正：平成 18.6.20
官　報　公　示：平成 18.6.20
原 案 作 成 者：社団法人日本バルブ工業会
（〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館　TEL 03-3434-1811）
審　議　部　会：日本工業標準調査会　標準部会（部会長　二瓶　好正）
審議専門委員会：機械要素技術専門委員会（委員会長　大園　成夫）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# まえがき

この規格は，工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき，社団法人日本バルブ工業会(JVMA)から，工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり，日本工業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって，**JIS B 2061**:2004 は改正され，この規格に置き換えられる。

今回の改正では，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加などによる種類，呼び径及び補助区分の改正並びに電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加による性能，構造，材料，試験方法などを改正した。また，**附属書 1**（**規定**）水栓及び洗浄弁の主要寸法，**附属書 2**（**規定**）水栓の取付部の主要寸法，**附属書 3**（**規定**）ボールタップの共通主要寸法を，**附属書 1**（**規定**）単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法，**附属書 2**（**規定**）止水栓の主要寸法，**附属書 3**（**規定**）ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法に改正した。

この規格の一部が，技術的性質をもつ特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権，又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は，このような技術的性質をもつ特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権，又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について，責任をもたない。

**JIS B 2061** には，次に示す附属書がある。

**附属書 1**（**規定**）単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法

**附属書 2**（**規定**）止水栓の主要寸法

**附属書 3**（**規定**）ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法

**附属書 4**（**参考**）こま式・固定式の水栓の共通主要寸法

**附属書 5**（**参考**）こま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法

**附属書 6**（**参考**）ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間

**附属書 7**（**参考**）給水栓の形状



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 目　次

ページ

1. 適用範囲 …… 1
2. 引用規格 …… 1
3. 定義 …… 1
4. 種類，呼び径及び補助区分 …… 2
5. 性能 …… 3
5.1 耐圧性能 …… 3
5.2 耐寒性能 …… 3
5.3 水撃限界性能 …… 3
5.4 逆流防止性能 …… 3
5.5 負圧破壊性能 …… 4
5.6 耐久性能 …… 4
5.7 浸出性能 …… 4
5.8 操作性能 …… 6
5.9 吐水性能 …… 6
5.10 止水性能 …… 6
5.11 緊急止水性能 …… 6
5.12 自動温度調整性能 …… 6
5.13 絶縁性能 …… 6
5.14 消費電力 …… 7
5.15 定量止水性能 …… 7
6. 構造・形状・寸法 …… 7
6.1 基本構造 …… 7
6.2 水栓の構造・形状・寸法 …… 7
6.3 ボールタップの構造・形状・寸法 …… 8
6.4 洗浄弁・洗浄水栓の構造・形状・寸法 …… 8
6.5 寒冷地用又は共用の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の構造 …… 8
7. 材料 …… 8
8. 試験方法 …… 8
8.1 耐圧性能試験 …… 8
8.2 耐寒性能試験 …… 8
8.3 水撃限界性能試験 …… 9
8.4 逆流防止性能試験 …… 9
8.5 負圧破壊性能試験 …… 9
8.6 耐久性能試験 …… 9
8.7 浸出性能試験 …… 10



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

ページ

**8.8**　操作性能試験 ……12
**8.9**　吐水性能試験 ……12
**8.10**　止水性能試験 ……13
**8.11**　緊急止水性能試験 ……13
**8.12**　自動温度調整性能試験 ……13
**8.13**　絶縁性能試験 ……14
**8.14**　消費電力試験 ……14
**8.15**　定量止水性能試験 ……14
**9.**　検査 ……14
**9.1**　一般 ……14
**9.2**　形式検査 ……15
**9.3**　受渡検査 ……15
**10.**　製品の呼び方 ……15
**11.**　表示 ……15
**11.1**　本体表示 ……15
**11.2**　包装表示 ……16
**12.**　取扱説明書 ……17
**附属書 1**（規定）単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法 ……18
**附属書 2**（規定）止水栓の主要寸法 ……21
**附属書 3**（規定）ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法 ……26
**附属書 4**（参考）こま式・固定式の水栓の共通主要寸法 ……29
**附属書 5**（参考）こま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法 ……30
**附属書 6**（参考）ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間 ……32
**附属書 7**（参考）給水栓の形状 ……33
**解　説** ……42



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

白　　紙



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

日本工業規格 JIS
B 2061：2006

# 給水栓

Faucets, ball taps and flush valves

**1. 適用範囲** この規格は，次に示す単水栓，湯水混合水栓，止水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓（それぞれ，電気開閉式のものを含む。）について規定する。

**a)** 使用圧力(1)0.75 MPa 以下の給水・給湯用の単水栓，湯水混合水栓及び止水栓（以下，水栓という。）。ただし，太陽熱利用温水器専用の水栓は，除く。

**b)** 使用圧力(1)0.75 MPa 以下の給水用のボールタップ。

**c)** 使用圧力(1)0.75 MPa 以下の洗浄弁・洗浄水栓。

**注(1)** ここでいう使用圧力とは，止水状態の圧力をいう。

**備考** この規格で用いられる圧力は，ゲージ圧である。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0100** バルブ用語

**JIS B 0202** 管用平行ねじ

**JIS B 1002** 二面幅の寸法

**JIS S 3200-1** 水道用器具―耐圧性能試験方法

**JIS S 3200-2** 水道用器具―耐寒性能試験方法

**JIS S 3200-3** 水道用器具―水撃限界性能試験方法

**JIS S 3200-4** 水道用器具―逆流防止性能試験方法

**JIS S 3200-5** 水道用器具―負圧破壊性能試験方法

**JIS S 3200-7** 水道用器具―浸出性能試験方法

**3. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は，**JIS B 0100** によるほか，次による。

**a)** **逆流防止装置** 一次側圧力が，二次側圧力よりも低下したときに生じる逆流を確実に防止する装置。

**b)** **一時止水** 湯水混合水栓で，湯水を混合している状態において，一時的に止水すること。

**c)** **常温** 20±15 ℃の温度。

**d)** **負圧破壊機構** 一次側に負圧が生じたときに，負圧を解消する機構又は構造。

**e)** **定量止水性能** 設定した量を吐水すると自動的に停止する能力。

**f)** **自閉式** 手，脚などの操作によって吐水し，自動的に止水する構造。

**g)** **ホース接続形** 散水又は洗濯を目的として，ホースを接続できる構造。

**h)** **共用形** 寒冷地及び寒冷地以外の地域で用いることができる構造。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

i) **サーモスタット湯水混合水栓**　温度調整ハンドルによって，あらかじめ吐水温度を設定しておけば，湯水の圧力，温度変動などがあった場合でも，湯水の混合量を自動的に調整し，設定温度の混合水を供給する機構を組み込んだ湯水混合水栓。

j) **ミキシング湯水混合水栓**　一つのハンドル操作によって，吐水温度の調整ができる湯水混合水栓。

k) **シングル湯水混合水栓**　一つのハンドル操作によって，吐水，止水，吐水流量及び吐水温度の調整ができる湯水混合水栓。

l) **埋込形**　水栓本体の機構部分を壁又は台の中に埋め込める構造。

m) **電気開閉式**　弁の開閉を電気的に行う構造。

n) **分岐止水栓**　一次側に分岐接続口を設けた止水栓。

o) **分岐形**　一次側から分岐した流路に止水機構と分岐接続口を設けた構造。

p) **分岐口付**　一次側から分岐した流路に分岐接続口を設けた構造。

q) **2口・3口・4口**　共通の給水口から分かれた複数の流路の各々に止水機構と吐水口とを設けた構造。

r) **元止め式専用水栓**　二次側流路に浄水器，電気温水器などへの送水口及び帰水口を設けた水栓。

s) **Y形止水栓**　主として屋内給水管に用いるスピンドルが斜め方向に取り付けられ，二次側がユニオン継手式の止水栓。

t) **泡まつ（沫）装置**　流水中に空気を混入させ，水はねを抑える装置。

u) **整流装置**　吐水の流れを整流状態に整える装置。

v) **流量制御装置**　圧力変動があった場合でも，あらかじめ設定された流量に自動的に調整する装置。

w) **ストレーナ（フィルタ）**　金網などによって流水中の異物をろ過する装置。

x) **緊急止水装置**　自動連結継手が不意に外れても，緊急回避するために自動的に一時止水する装置。

**4.　種類，呼び径及び補助区分**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の種類（**附属書7**参照），呼び径及び補助区分は，**表1**による。

**表 1　種類，呼び径及び補助区分**

| 区分 | 種類 | 呼び径 | | | 補助区分 |
|---|---|---|---|---|---|
| 単水栓 | 横水栓 | 13 | 20 | 25 | 吐水口回転形，自在形，横自在形，グーズネック形，ホース接続形，埋込形，2口，3口，4口，分岐形，シャワー形 |
| | 立水栓 | 13 | 20 | 25 | |
| | 横形衛生水栓 | 13 | − | − | |
| | 立形衛生水栓 | 13 | − | − | |
| | 壁付化学水栓 | 13 | − | − | 1口，2口，3口，4口 |
| | 台付化学水栓 | 13 | − | − | 1口，2口，3口，4口，振分2口，振分4口 |
| | 横形水飲水栓 | 13 | − | − | |
| | 立形水飲水栓 | 13 | − | − | |
| | 元止め式専用水栓 | 13 | − | − | 浄水器用，電気温水器用 |

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**表 1　種類，呼び径及び補助区分（続き）**

| 区分 | 種類 | 呼び径 | | | 補助区分 |
|---|---|---|---|---|---|
| 湯水混合水栓 | 壁付サーモスタット湯水混合水栓 | 13 | 20 | 25 | シャワー形，シャワーバス形，埋込形，ホース接続形，2口，3口，4口，分岐形，分岐口付 |
| | 台付サーモスタット湯水混合水栓 | 13 | 20 | 25 | |
| | 壁付ミキシング湯水混合水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 台付ミキシング湯水混合水栓 | 13 | － | － | |
| | 壁付シングル湯水混合水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 台付シングル湯水混合水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 壁付2ハンドル湯水混合水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 台付2ハンドル湯水混合水栓 | 13 | 20 | － | |
| 止水栓 | アングル形止水栓 | 13 | 20 | － | 分岐形，分岐口付 |
| | ストレート形止水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 腰高止水栓 | 13 | 20 | 25 | |
| | Y形止水栓 | 13 | 20 | － | |
| | 分岐止水栓 | 13 | 20 | － | |
| ボールタップ | 横形ロータンク用ボールタップ | 13 | － | － | |
| | 立形ロータンク用ボールタップ | 13 | － | － | 吐水口水没形 |
| | 横形ボールタップ | 13 | 20 | 25 | |
| 洗浄弁･洗浄水栓 | 大便器洗浄弁 | － | － | 25 | 分岐口付 |
| | 小便器洗浄弁 | 13 | － | － | |
| | 小便器洗浄水栓 | 13 | － | － | |

## 5.　性能

**5.1　耐圧性能**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁･洗浄水栓の耐圧性能は，**8.1** によって試験を行ったとき，耐圧部に変形，破損，漏水，にじみ，その他の異常があってはならない。

**5.2　耐寒性能**　寒冷地又は共用の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓は，**8.2** によって試験を行ったとき，次の各項に適合しなければならない。

**a)**　凍結破損又は変形があってはならない。

**b)**　解凍後は，次に示す性能を満足しなければならない。

**1)　耐圧性能**

**2)　水撃限界性能**

**3)　逆流防止性能**

**4)　負圧破壊性能**

**5)　操作性能**

**6)　吐水性能**

**7)　止水性能**

**8)　自動温度調節性能**

**9)　絶縁性能**

**5.3　水撃限界性能**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の水撃値は，**8.3** によって試験を行ったとき，1.5 MPa 以下でなければならない。

**備考**　水撃値は，吐水中の水圧を含まない圧力とする。

**5.4　逆流防止性能**　逆流防止装置付きの水栓の逆流防止性能は，次による。ただし，逆流防止装置の流出側に止水機構がなく，大気に開放されている水栓は，**a)**だけを満足すればよい。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**a)** **低圧試験による場合** **8.4 a)**によって試験を行ったとき，逆流防止装置のシート部からの漏れ，その他の異常があってはならない。

**b)** **高圧試験による場合** **8.4 b)**によって試験を行ったとき，逆流防止装置のシート部からの漏れ，シート部の変形若しくは破損，又はその他の異常があってはならない。

**5.5** **負圧破壊性能** 負圧破壊機構付きの水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓は，**8.5** によって試験を行ったとき，水位上昇は，**表 2** に適合しなければならない。

**表 2 許容水位上昇**

**単位** mm

| 負圧破壊機構の空気吸入シート面から水面までの垂直距離(2) | 試験時の垂直距離 (*A*) | 許容水位上昇 (*B*) |
|---|---|---|
| 40 以上 100 未満の場合 | 40 | 20 以下 |
| 100 以上の場合 | 100 | 50 以下 |

**注(2)** 一般的な取付状態での距離を示す。

**5.6** **耐久性能** 水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の耐久性能は，**8.6** によって試験を行った後，次に示す性能を満足しなければならない。

**a)** **逆流防止性能**

**b)** **負圧破壊性能**

**c)** **止水性能**

**5.7** **浸出性能** 飲用に供する水栓及びボールタップ(3)に適用される浸出性能は，**8.7** によって試験を行ったときの補正値が，**表 3** を満足しなければならない。

**注(3)** 通常の使用状態において飲用を目的とする台所又は洗面所に用いられる水栓及び飲用を目的とする受水槽用ボールタップをいう。

**表 3 浸出性能の判定基準**

| 項目 | 判定基準 | |
|---|---|---|
| | 止水栓及びボールタップ | 単水栓及び湯水混合水栓 |
| カドミウム及びその化合物 | カドミウムの量に関して 0.01 mg/L 以下 | カドミウムの量に関して 0.001 mg/L 以下 |
| 水銀及びその化合物 | 水銀の量に関して 0.000 5 mg/L 以下 | 水銀の量に関して 0.000 05 mg/L 以下 |
| セレン及びその化合物 | セレンの量に関して 0.01 mg/L 以下 | セレンの量に関して 0.001 mg/L 以下 |
| 鉛及びその化合物 | 鉛の量に関して 0.01 mg/L 以下 | 鉛の量に関して 0.001 mg/L 以下 |
| ひ素及びその化合物 | ひ素の量に関して 0.01 mg/L 以下 | ひ素の量に関して 0.001 mg/L 以下 |
| 六価クロム化合物 | 六価クロムの量に関して 0.05 mg/L 以下 | 六価クロムの量に関して 0.005 mg/L 以下 |
| シアン化物イオン及び塩化シアン | シアンの量に関して 0.01 mg/L 以下 | シアンの量に関して 0.001 mg/L 以下 |
| 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | 10 mg/L 以下 | 1.0 mg/L 以下 |
| ふっ素及びその化合物 | ふっ素の量に関して 0.8 mg/L 以下 | ふっ素の量に関して 0.08 mg/L 以下 |
| ほう素及びその化合物 | ほう素の量に関して 1.0 mg/L 以下 | ほう素の量に関して 0.1 mg/L 以下 |

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**表 3　浸出性能の判定基準（続き）**

| 項目 | 判定基準 | |
|---|---|---|
| | 止水栓及びボールタップ | 単水栓及び湯水混合水栓 |
| 四塩化炭素 | 0.002 mg/L 以下 | 0.000 2 mg/L 以下 |
| 1,4-ジオキサン | 0.05 mg/L 以下 | 0.005 mg/L 以下 |
| 1,2-ジクロロエタン | 0.004 mg/L 以下 | 0.000 4 mg/L 以下 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.02 mg/L 以下 | 0.002 mg/L 以下 |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04 mg/L 以下 | 0.004 mg/L 以下 |
| ジクロロメタン | 0.02 mg/L 以下 | 0.002 mg/L 以下 |
| テトラクロロエチレン | 0.01 mg/L 以下 | 0.001 mg/L 以下 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 0.006 mg/L 以下 | 0.000 6 mg/L 以下 |
| トリクロロエチレン | 0.03 mg/L 以下 | 0.003 mg/L 以下 |
| ベンゼン | 0.01 mg/L 以下 | 0.001 mg/L 以下 |
| ホルムアルデヒド | 0.08 mg/L 以下 | 0.008 mg/L 以下 |
| 亜鉛及びその化合物 | 亜鉛の量に関して<br>1.0 mg/L 以下 | 亜鉛の量に関して<br>0.1 mg/L 以下 |
| アルミニウム及びその化合物 | アルミニウムの量に関して<br>0.2 mg/L 以下 | アルミニウムの量に関して<br>0.02 mg/L 以下 |
| 鉄及びその化合物 | 鉄の量に関して<br>0.3 mg/L 以下 | 鉄の量に関して<br>0.03 mg/L 以下 |
| 銅及びその化合物 | 銅の量に関して<br>1.0 mg/L 以下 | 銅の量に関して<br>0.1 mg/L 以下 |
| ナトリウム及びその化合物 | ナトリウムの量に関して<br>200 mg/L 以下 | ナトリウムの量に関して<br>20 mg/L 以下 |
| マンガン及びその化合物 | マンガンの量に関して<br>0.05 mg/L 以下 | マンガンの量に関して<br>0.005 mg/L 以下 |
| 塩素物イオン | 200 mg/L 以下 | 20 mg/L 以下 |
| 蒸発残留物 | 500 mg/L 以下 | 50 mg/L 以下 |
| 陰イオン界面活性剤 | 0.2 mg/L 以下 | 0.02 mg/L 以下 |
| 非イオン界面活性剤 | 0.02 mg/L 以下 | 0.005 mg/L 以下 |
| フェノール類 | フェノールの量に換算して<br>0.005 mg/L 以下 | フェノールの量に換算して<br>0.000 5 mg/L 以下 |
| 有機物［全有機炭素（TOC）の量］ | 5.0 mg/L 以下 | 0.5 mg/L 以下 |
| 味 | 異常でないこと | 異常でないこと |
| 臭気 | 異常でないこと | 異常でないこと |
| 色度 | 5 度以下 | 0.5 度以下 |
| 濁度 | 2 度以下 | 0.2 度以下 |
| エピクロロヒドリン | 0.01mg/L 以下 | 0.01 mg/L 以下 |
| アミン類 | トリエチレンテトラミンとして<br>0.01 mg/L 以下 | トリエチレンテトラミンとして<br>0.01 mg/L 以下 |
| 2,4-トルエンジアミン | 0.002 mg/L 以下 | 0.002 mg/L 以下 |
| 2,6-トルエンジアミン | 0.001 mg/L 以下 | 0.001 mg/L 以下 |
| 酢酸ビニル | 0.01 mg/L 以下 | 0.01 mg/L 以下 |
| スチレン | 0.002 mg/L 以下 | 0.002 mg/L 以下 |
| 1,2-ブタジエン | 0.001 mg/L 以下 | 0.001 mg/L 以下 |
| 1,3-ブタジエン | 0.001 mg/L 以下 | 0.001 mg/L 以下 |

**備考1.** 主要材料として，銅合金を使用している単水栓及び湯水混合水栓では，**表 3** の鉛及びその化合物の項中“0.001 mg/L”とあるのは“0.007 mg/L”，亜鉛及びその化合物の項中“0.1 mg/L”とあるのは“0.97 mg/L”，銅及びその化合物の項中“0.1 mg/L”とあるのは“0.98 mg/L”とする。

**2.** パッキンを除く主要部品の材料としてゴム，ゴム化合物又は合成樹脂を使用している単水栓及び湯水混合水栓は，当分の間，**表 3** のフェノール類の項中“0.000 5 mg/L”とあるのは“0.005 mg/L”とする。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**5.8　操作性能**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の操作性能は，**8.8** によって試験を行ったとき，操作が円滑・確実でなければならない。

**5.9　吐水性能**

**5.9.1**　水栓，ボールタップ及び洗浄水栓の吐水性能は，**8.9.1** によって試験を行ったとき，次の各項に適合しなければならない。

**備考1.**　湯水混合水栓は，水側又は湯側の吐水流量の少ない片側とする。

**2.**　化学水栓は，1 口の吐水流量とする。

**3.**　節水こまを組み込んだ水栓において，吐水性能の比較対象となる普通こまを組み込んだ水栓がない場合は，次の **a)**及び **c)**による。

**a)**　水栓，ボールタップ及び洗浄水栓の吐水性能は，用途に応じた十分な吐水流量がなければならない。

**b)**　節水こまを組み込んだ水栓の吐水性能は，次による。

**1)**　ハンドルを 120°開いたとき，普通こまを組み込んだ場合に比べ，20 %を超え 70 %以下の吐水流量でなければならない。

**2)**　ハンドルを全開にしたとき，普通こまを組み込んだ場合に比べ，70 %以上の吐水流量がなければならない。

**c)**　吐水流量は，用途にかかわらず 0.5 L/min 以上でなければならない。

**5.9.2**　洗浄弁の吐水性能は，**8.9.2** によって試験を行ったとき，吐水開始後速やかに最大瞬間流量(吐水中最大となる流量)に達し，次第に減少して止水するものでなければならない。

なお，最大瞬間流量及び吐水量は，**表 4** に適合しなければならない。

**表 4　最大瞬間流量及び吐水量**

| 種類 | 最大瞬間流量（L/min） | 吐水量（L） |
|---|---|---|
| 大便器洗浄弁 | 100 以上 | 13 以上 |
| 小便器洗浄弁 | 15 以上 | 4 以上 |

**5.10　止水性能**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の止水性能は，**8.10** によって試験を行ったとき，次に適合しなければならない。

**a)**　水栓及び洗浄弁・洗浄水栓は，シート漏れがあってはならない。

**b)**　ボールタップは，浮玉などの浮力によって自動止水し，シート漏れがあってはならない。

**5.11　緊急止水性能**　緊急止水装置付きのホース接続形水栓は，**8.11** によって試験を行ったとき，次に適合しなければならない。

**a)**　緊急止水装置は，緊急止水状態でシート漏れがあってはならない。

**5.12　自動温度調整性能**　サーモスタット付きの水栓は，**8.12** によって試験を行ったとき，次の各項に適合しなければならない。

**a)**　温度表示目盛を 40 ℃付近に合わせたときの吐水温度は，設定温度の±3 ℃でなければならない。

**b)**　吐水温度を 40 ℃付近に設定した後，一次側給水圧力を変動させた場合，吐水温度は，±3 ℃でなければならない。

**5.13　絶縁性能**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓のうち電気開閉式のものの絶縁性能は，**8.13** によって試験を行ったとき，次に適合しなければならない。

なお，電池式のものは，適用しない。

**a)**　**絶縁抵抗　8.13 a)**によって試験を行ったとき，抵抗値が 1 MΩ以上でなければならない。

**b)**　**耐湿絶縁抵抗　8.13 b)**によって試験を行ったとき，抵抗値が 0.3 MΩ以上でなければならない。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**c)　耐電圧　8.13 c)**によって試験を行った後，正常に作動しなければならない。

**5.14　消費電力**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓のうち電気開閉式のものの消費電力は，**8.14** の試験を行ったとき，表示された定格消費電力以下でなければならない。

なお，電池式のものは，適用しない。

**5.15　定量止水性能**　定量止水装置付きの水栓は，**8.15** によって試験を行ったとき，次に適合しなければならない。

$$\left|\frac{\text{設定吐水量}-\text{実吐水量}}{\text{設定吐水量}}\right| \leqq 0.2$$

## 6.　構造・形状・寸法

**6.1　基本構造**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の基本構造は，次による。

**a)**　操作がしやすく，安全であること。また，異常音がないこと。

**b)**　素肌を傷つけるような鋭角部及び突起物がないこと。

**c)**　水撃が発生しにくいこと。

**d)**　保守・点検整備が容易であること。

**e)**　施工が容易であること。

**6.2　水栓の構造・形状・寸法**　水栓の構造・形状・寸法は，次による。

**a)**　水栓の主要寸法は，**附属書 1** 及び**附属書 2** による。ただし，構造・形状・寸法については，注文者又は製造業者の考案意匠によることができる。

**備考1.**　水栓の取付ナットの二面幅は，**JIS B 1002** によるのがよい。

**2.**　こま式・固定式の水栓の共通主要寸法を，**附属書 4** に参考として示す。

**3.**　水栓に用いるこま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法を，**附属書 5** に参考として示す。

**b)**　水栓の開閉ねじは，右ねじとする。ただし，ハンドルをレバー式とした場合並びに横水栓(自在形)，立水栓（自在形)，壁付 2 ハンドル湯水混合水栓及び台付 2 ハンドル湯水混合水栓の湯側に用いる場合は，この限りでない。

**c)**　シングル湯水混合水栓の開閉操作方法は，“下げ止水方式”とする。

**d)**　2 ハンドル湯水混合水栓のハンドルは，向かって右側を水，左側を湯とする。また，湯及び水の区別が容易に分かる表示をしなければならない。

**e)**　サーモスタット湯水混合水栓は，高温の吐水防止のため，安全装置を設ける。

**f)**　一時止水構造の 2 ハンドル湯水混合水栓，サーモスタット湯水混合水栓及びミキシング湯水混合水栓は，湯側・水側に逆流防止装置を付けなければならない。

**g)**　ホース接続形水栓，ハンドシャワーの付いた水栓及び元止め式専用水栓は，逆流防止装置を付けなければならない。

**h)**　水栓には，泡まつ(沫)装置，整流装置，流量制御装置，水撃低減装置及びストレーナ（フィルタ）を設けることができる。

**i)**　水栓は，定量止水式又は自閉式とすることができる。

**j)**　水栓の吐水口は，回転，固定及び回転角度規制をすることができる。

**k)**　水栓は，ゴム栓式又はポップアップ式の排水装置を取り付けることができるように加工することができる。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**l)** 水栓のハンドルは，かぎ式とすることができる。

**m)** 水栓のハンドルの位置は，左右いずれでもよい。

**n)** 水栓のカップリング部は，自動連結継手付きとすることができる。さらに，ホース接続形の場合には，緊急止水装置を設けることができる。

**o)** 止水栓のスピンドルは，ハンドルの代わりにドライバーなどで回すことができる構造としてもよい。

**p)** 水栓は電気開閉式とすることができる。

**6.3 ボールタップの構造・形状・寸法** ボールタップの構造・形状・寸法は，次による。

**a)** ボールタップの主要寸法は，**附属書 3** による。ただし，構造・形状・寸法については，注文者又は製造業者の考案意匠によることができる。

**備考1.** ボールタップの取付ナットの二面幅は，**JIS B 1002** によるのがよい。

**2.** ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間を，**附属書 6** に参考として示す。

**b)** ボールタップの吐水口が水没する場合は，負圧破壊機構付きとする。

**c)** ボールタップのてこは，単式又は複式とする。

**d)** ボールタップは，電気開閉式とすることができる。

**6.4 洗浄弁・洗浄水栓の構造・形状・寸法** 洗浄弁・洗浄水栓の構造・形状・寸法は，次による。

**a)** 洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法は，**附属書 3** による。ただし，構造・形状・寸法については，注文者又は製造業者の考案意匠によることができる。

**b)** 大便器洗浄弁は，負圧破壊機構付きとする。

**c)** 洗浄弁・洗浄水栓は電気開閉式とすることができる。

**6.5 寒冷地用又は共用の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の構造** 寒冷地用又は共用の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の構造は，凍結による破損防止及び凍結後の機能保持のため，次による。

**a)** 凍結防止法は，水抜き，器具に内蔵された加熱器などによる。

**b)** 水抜き操作は，工具を用いず，手動で容易に操作できるものとする。

**c)** 凍結時・解凍後の再通水時とも安全性が確保できるものとする。

**d)** 寒冷地用又は共用の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓は，電気開閉式とすることができる。

**7. 材料** 水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の材料は，通常の使用及び施工に十分耐えられる強度をもち，かつ，**5.7** の規定を満足しなければならない。さらに，電気開閉式の場合は，**5.13** 及び **5.14** の規定に十分耐えられる材料でなければならない。

**8. 試験方法**

**8.1 耐圧性能試験** 耐圧性能試験は，**JIS S 3200-1** の規定による。ただし，**9.3** で規定する受渡検査における試験については，**JIS S 3200-1** の**附属書 2**（**規定**）の金属製の管，管継手及びバルブの空気圧試験方法によって，漏水・にじみの有無を調べてもよい。

**a)** 止水栓及びホース接続形水栓は，二次側も 1.75 MPa の水圧を加える。

**b)** 一時止水構造の湯水混合水栓は，一時止水の状態で，1.75 MPa の水圧を加える。

**8.2 耐寒性能試験** 耐寒性能試験は，**JIS S 3200-2** の規定による。ただし，供試品を解凍した後，通水して，吐水することを確認し，**5.2** に規定する性能試験を行う。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

なお，再通水時の水圧は，0.1 MPa とする。

**8.3　水撃限界性能試験**　水撃限界性能試験は，**JIS S 3200-3** の規定による。ただし，**表 5** に示す条件で吐水し，供試品のシートを所定の時間で閉止したときの圧力を測定する。

**表 5　水撃限界性能試験の条件**

| 区分 | 開度 | 吐水中の流速 | シート閉止時間 |
|---|---|---|---|
| 手動式 | ハンドル式は約 120°([4]),<br>レバー式は全開 | 2 m/s([5]) | 0.5 秒 |
| 自閉式<br>定量止水式<br>電気開閉式 | 全開 | 2 m/s([5]) | 器具の仕様による。 |

**注([4])**　全開開度が 120°以下の器具は，全開とする。

([5])　吐水中の水圧が，0.15 MPa に達しても，流速が 2 m/s に達しない場合は，吐水中の水圧を 0.15 MPa として行う。

**8.4　逆流防止性能試験**　逆流防止性能試験は，**JIS S 3200-4** の規定による。

なお，試験は，逆流防止装置だけで行ってもよい。

**a)　低圧試験**　“**JIS S 3200-4** の試験圧力（静水圧）が 3 kPa の場合”による。

**b)　高圧試験**　“**JIS S 3200-4** の試験圧力（静水圧）が 3 kPa 以外の場合”による。

**8.5　負圧破壊性能試験**　負圧破壊性能試験は，**JIS S 3200-5** の規定による。ただし，**図 1** に示すような試験装置に供試品を取り付け，負圧破壊機構の空気吸入シート面から水面までを**表 2** の試験時の垂直距離（*A*）になるようにして，供試品の開閉部が開いた状態で次の試験を行い，透明管の水位上昇（*B*）をみる。

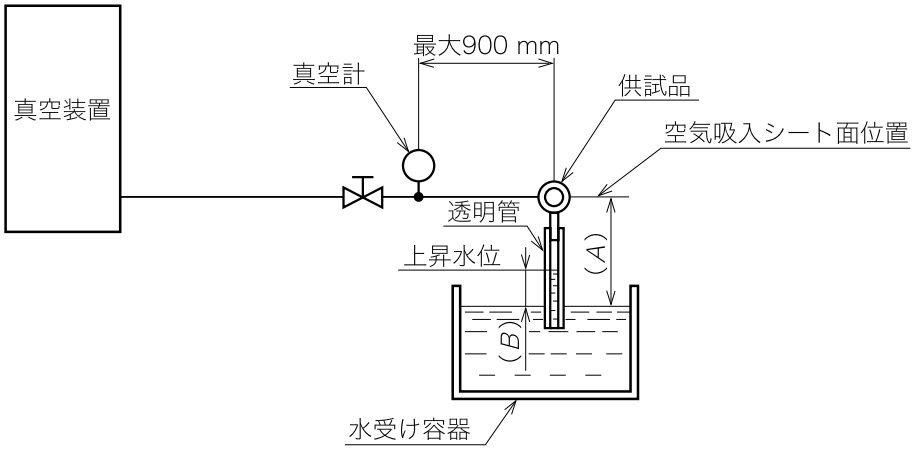



**図 1　負圧破壊性能試験装置の例**

**8.6　耐久性能試験**　耐久性能試験は，次による。

**a)　水栓の耐久性能試験**　水栓の耐久性能試験は，次の条件で 10 万回のシートの開閉操作を行った後，**5.6** に規定する性能試験を行う。この場合，“開・閉”の作動を合わせて 1 回とする。

**1)**　水圧は，シートの閉止状態で，0.2 MPa 以上とする。

**2)**　使用水の温度は，常温とする。

**3)**　ハンドルの回転操作によって“開・閉”を行う場合のハンドル閉止時の回転トルクは，50 N･cm 以上とする。

**4)**　レバーの上下又は左右の操作によって“開・閉”を行う場合のレバー閉止時の操作力は，20 N 以上

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

とする。

**b)** **ボールタップの耐久性能試験**　ボールタップの耐久性能試験は，次の条件で 10 万回作動後，**5.6** に規定する性能試験を行う。この場合，“開・閉”の作動を合わせて 1 回とする。

なお，浮玉の浮力によって止水させるときは，止水時間を短縮のための水を加えるなどの方法を用いてもよい。また，開閉作動は，機械装置を使ってもよく，そのときのシートに加える力は，試験水圧において止水する 1.5 倍以上とする。

**1)** 水圧は，シートを閉じた状態で，0.2 MPa 以上とする。

**2)** 使用水の温度は，常温とする。

**3)** 機械装置を用いず，浮玉の浮力によって止水させるときは，**図 2** に示すような試験装置とする。

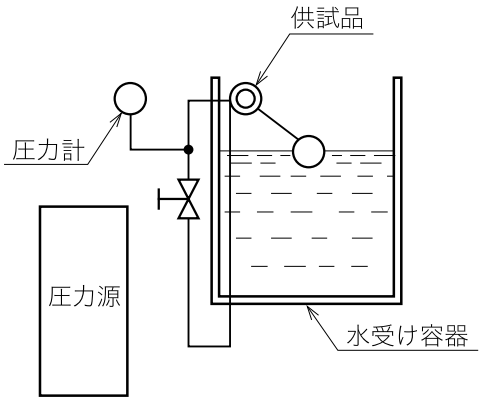



**図 2　ボールタップの耐久性能試験装置の例（浮玉の浮力による場合）**

**c)** **洗浄弁・洗浄水栓の耐久性能試験**　洗浄弁・洗浄水栓の耐久性能試験は，次の条件で 20 万回作動後，**5.6** に規定する性能試験を行う。この場合，“開・閉”の作動を合わせて 1 回とする。

**1)** 水圧は，弁の閉止状態で，0.2 MPa 以上とする。

**2)** 使用水の温度は，常温とする。

**8.7**　**浸出性能試験**　浸出性能試験は，**JIS S 3200-7** の規定による。

単水栓及び湯水混合水栓は，**JIS S 3200-7** の“末端給水用具”を，止水栓は **JIS S 3200-7** の“配管途中に設置される給水用具（加熱した水を通水することを目的としたもの）”を，ボールタップは **JIS S 3200-7** の“配管途中に設置される給水用具（加熱した水を通水することを目的としたものを除く。）”を適用する。

**参考**　浸出性能試験の作業要領を，**参考図 1～3** に示す。

なお，作業要領は，土日を休み，コンディショニングを実施する場合を示す。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

| | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 試験日 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 9:00 | W/3W | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | C |
| 11:00 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 13:00 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 15:00 | | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 17:00 | <72 | | | 16 | 16 | 16 | 16 | 64 | | | 16 | 16 | 16 | 16 | 64 | | | 16 | 16 | 16 | 16 | |

**記号の説明**

W/3W ：水道水による 1 時間洗浄と，3 回の水洗

<72 ：コンディショニング操作に入る前の小休止（72 時間以内とする。）
なお，この間は供試品に浸出液を満たしておく。

2：浸出液の滞留及び排出（2 時間おきに実施する。）

16：16 時間の小休止（一晩中，供試品に浸出液を満たしておく。）

64：64 時間の小休止
（金曜日の 17:00 以降，次週月曜日の 9:00 まで，供試品に浸出液を満たしておく。）

C：採水及び浸出液の分析

**参考図 1　水栓の洗浄，コンディショニング及び浸出の作業日程の例**

| | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 試験日 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 9:00 | W/3W | | | | | | | | | | | | | | C |
| 17:00 | >24 | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨=● 1<br>● 1<br>●16 | |

**記号の説明**

W/3W：水道水による 1 時間洗浄と，3 回の水洗

○：浸出液の滞留及び排出（中数字は通算の交換回数）

●1：最高使用温度±2 ℃の浸出液による 1 時間滞留（滞留中，水温を維持する必要はない。）

●16：最高使用温度±2 ℃の浸出液による 16 時間滞留（滞留中，水温を維持する必要はない。）

C：採水，浸出液の分析

>24：24 時間以上の静置

**参考図 2　止水栓の洗浄，コンディショニング及び浸出の作業日程の例**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

| | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 試験日 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 9:00 | W/3W | | | | | | | | | | | | | | C |
| 17:00 | >24 | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |

**記号の説明**

W/3W：水道水による 1 時間洗浄と，3 回の水洗

○：浸出液の滞留及び排出（中数字は通算の交換回数）

C：採水及び浸出液の分析

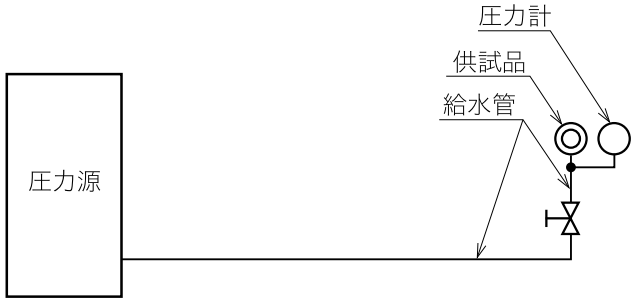
>24：24 時間以上の静置

**参考図 3　ボールタップの洗浄，コンディショニング及び浸出の作業日程の例**

**8.8　操作性能試験**　操作性能試験は，手動などの実使用に基づき開閉・切替え操作を行う。

**8.9　吐水性能試験**

**8.9.1**　水栓，ボールタップ及び洗浄水栓の吐水性能試験は，**図 3** に示すような試験装置に供試品を取り付け，吐水中の水圧を 0.1 MPa に設定し，全開で吐水させて行う。ただし，節水こまを組み込んだ水栓は，ハンドルを 120° 開いた状態についても行う。




**備考**　給水管は，供試品と同一呼び径以上の管を用いる。

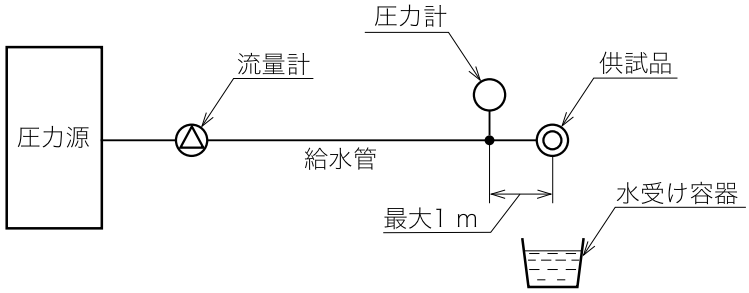
**図 3　水栓，ボールタップ及び洗浄水栓の吐水性能試験装置の例**

**8.9.2**　洗浄弁の吐水性能試験は，**図 4** に示すような試験装置に供試品を取り付け，次の方法によって行う。

**a)**　吐水中の水圧を 0.1 MPa に設定し，各試験の測定は，3 回繰り返して行う。

**b)**　測定値は，最大瞬間流量とする。

**c)**　供試品を調整して，**表 6** に示す最大瞬間流量に設定し，吐水開始から停止までの 1 サイクル当たりの吐水量を測定する。自動洗浄の場合は，前洗浄を含まない。




**備考**　給水管は，供試品と同一呼び径以上の管を用いる。

**図 4　洗浄弁の吐水性能試験装置の例**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**表 6　設定する最大瞬間流量**

**単位**　L/min

| 種類 | 最大瞬間流量 |
|---|---|
| 大便器洗浄弁 | 100～120 |
| 小便器洗浄弁 | 15～18 |

**8.10　止水性能試験**　止水性能試験は，**図 5** に示すような試験装置に供試品を取り付け，0.75 MPa の水圧を加え，1 分間持続して行う。ただし，空気圧によって試験を行う場合は，**図 6** に示すような試験装置に供試品を取り付け，0.4 MPa 以上の空気圧を加え，5 秒間持続して行う。

なお，ボールタップの場合，水受け容器の大きさによって止水時間が長引く場合は，水を加えて時間を短縮してもよい。

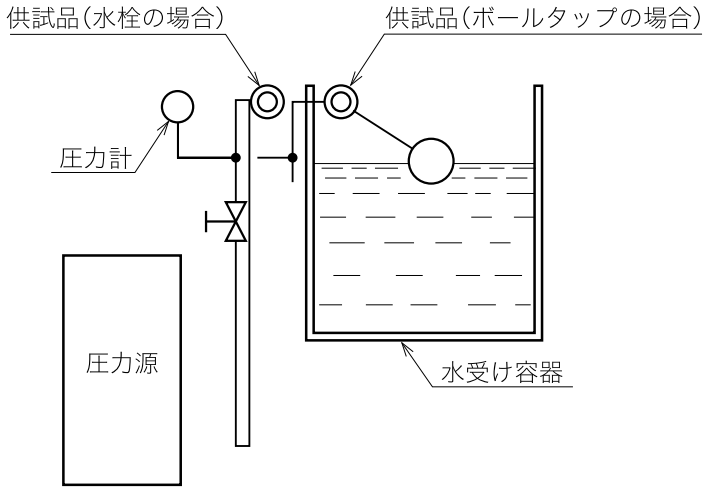



**図 5　止水性能試験装置の例（水圧による場合）**

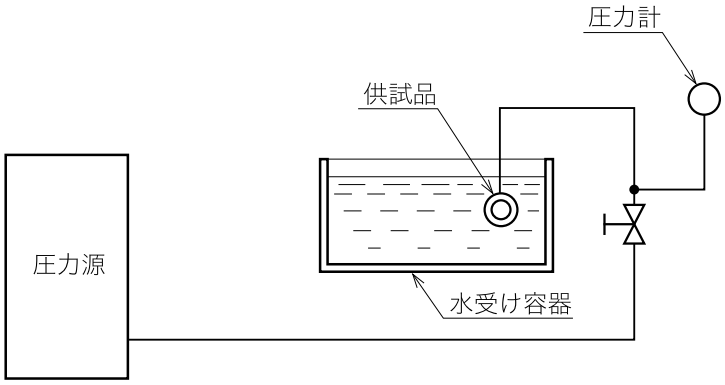



**図 6　止水性能試験装置の例（空気圧による場合）**

**8.11　緊急止水性能試験**　緊急止水性能試験は，通水状態から緊急止水状態にした後，**図 5** 又は**図 6** に規定する性能試験を行う。

**8.12　自動温度調整性能試験**　自動温度調整性能試験は，**図 7** に示すような試験装置に供試品を取り付け，吐水中の給水圧力を 0.2 MPa，吐水中の給湯圧力を 50 kPa，給水温度を 5～25 ℃，給湯温度を 80±5 ℃に設定し，全開状態で次の試験を行ったときの吐水温度を測定する。ただし，吐水中の給湯圧力を 0.2 MPa としてもよい。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**a)** 温度表示目盛を 40 ℃付近に合わせたときの吐水温度を温度計，サーミスタなどで測定する。

なお，シャワーバス形湯水混合水栓など，吐水口及びシャワーの 2 か所で吐水するものは，それぞれの吐水温度を測定する。

**b)** 吐水温度を 40 ℃に設定した後，給湯圧力を変えず，給水圧力を 0.1 MPa に変化させたときの吐水温度を温度計，サーミスタなどで測定する。

なお，シャワーバス形湯水混合水栓など，吐水口及びシャワーの 2 か所で吐水するものは，それぞれの吐水温度を測定する。

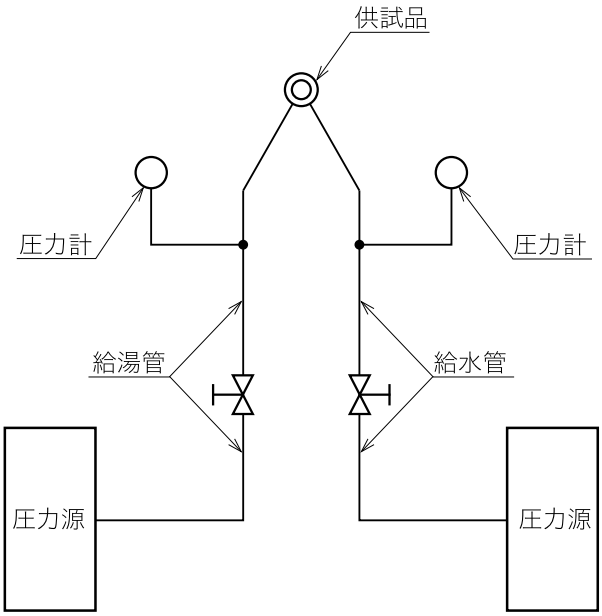



**図 7　自動温度調整性能試験装置の例**

**8.13　絶縁性能試験**　絶縁性能試験は，次による。

**a)** **絶縁抵抗試験**　充電部と非充電金属部との間の絶縁抵抗を 500 V 絶縁抵抗計によって測定する。

**b)** **耐湿絶縁抵抗試験**　周囲温度 45±3 ℃で 4 時間放置した後，周囲温度が 40±3 ℃，相対湿度が 88 %以上 92 %以下の状態に 24 時間保った後に外郭表面に付着した水分をふき取り，充電部と非充電金属部との間の絶縁抵抗を 500 V 絶縁抵抗計によって測定する。

**c)** **耐電圧試験**　絶縁抵抗試験の後，充電部と非充電金属部との間に 50 Hz 又は 60 Hz の正弦波に近い 1 000 V の交流電圧を連続して 1 分間加える。ただし，多数個の場合で判定に疑義を生じない場合は，1 200 V の電圧を 1 秒間加えることによって，これに代えることができる。

**8.14　消費電力試験**　製造業者の試験条件において定格電圧を加え，消費電力の値がほぼ一定になったときの消費電力値を測定する。

**8.15　定量止水性能試験**　定量止水性能試験は，**図 3** に示すような試験装置に供試品を取り付け，吐水中の水圧を 0.1 MPa とし，供試品の最高目盛の 1/2 近くの位置に目盛を設定したとき，吐水開始から自動的に停止するまでの吐水量を測定する。

なお，試験温度は，単水栓の場合は常温とし，湯水混合水栓の場合は 40±3 ℃とする。

## 9.　検査

**9.1　一般**　水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の検査は，形式検査([6])と受渡検査([7])とに区分し，形式検査は **9.2** に，受渡検査は **9.3** による。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

注([6]) 形式検査とは，製品の品質が設計で示したすべての特性を満足するかどうかを判定する検査をいう。

([7]) 受渡検査とは，既に形式検査に合格したものと同じ設計・製造による製品の受渡しに際して，必要と認める特性が満足するものであるかどうかを判定するための検査をいう。

**9.2 形式検査** 形式検査は，次による。

**a) 耐圧性能検査** 耐圧性能検査([8])は，**5.1** に適合しなければならない。

**b) 耐寒性能検査** 耐寒性能検査は，**5.2** に適合しなければならない。

**c) 水撃限界性能検査** 水撃限界性能検査は，**5.3** に適合しなければならない。

**d) 逆流防止性能検査** 逆流防止性能検査は，**5.4** に適合しなければならない。

**e) 負圧破壊性能検査** 負圧破壊性能検査は，**5.5** に適合しなければならない。

**f) 耐久性能検査** 耐久性能検査は，**5.6** に適合しなければならない。

**g) 浸出性能検査** 浸出性能検査([9])は，**5.7** に適合しなければならない。

**h) 操作性能検査** 操作性能検査は，**5.8** に適合しなければならない。

**i) 吐水性能検査** 吐水性能検査は，**5.9** に適合しなければならない。

**j) 止水性能検査** 止水性能検査は，**5.10** に適合しなければならない。

**k) 緊急止水性能検査** 緊急止水性能検査は，**5.11** に適合しなければならない。

**l) 自動温度調整性能検査** 自動温度調整性能検査は，**5.12** に適合しなければならない。

**m) 絶縁性能検査** 絶縁性能検査は，**5.13** に適合しなければならない。

**n) 消費電力検査** 消費電力検査は，**5.14** に適合しなければならない。

**o) 定量止水性能検査** 定量止水性能検査は，**5.15** に適合しなければならない。

**p) 構造検査** 構造検査は，**6.**に適合しなければならない。

**q) 表示検査** 表示検査は，**11.**に適合しなければならない。

注([8]) 耐圧性能検査は，1.75 MPa の水圧による試験方法によって，耐圧性能を確認する。

([9]) 飲用に供する水道水用の単水栓，サーモスタット湯水混合水栓，ミキシング湯水混合水栓，シングル湯水混合水栓，2 ハンドル湯水混合水栓，止水栓及び横形ボールタップにおいて，使用材料の材質及び製造方法の違いごとで，それぞれの浸出性能試験における接触面積比が最大のもの最低 1 個について検査する。

**9.3 受渡検査** 受渡検査は，**9.2** で規定する **a)**，**d)**([10])，**h)**，**j)**，**k)**，**m)**([11])，**p)**及び **q)**とする。

注([10]) 逆流防止性能検査は，**5.4 a)**だけ適合すればよい。

([11]) 絶縁性能検査は，**5.13 a)**及び **5.13 c)**だけ適合すればよい。

**10. 製品の呼び方** 水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の呼び方は，種類，呼び径及び補助区分による。また，必要に応じて機能を付記する。

例

| 横水栓 | 13 | （自在形， | 寒冷地用） |
|---|---|---|---|
| 種類 | 呼び径 | 補助区分 | 機能 |

**11. 表示**

**11.1 本体表示** 水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の本体には，容易にはく離しない方法で，次の事項を表示しなければならない。

**a)** 製造業者名又はその略号

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**b)** 単水栓のうち，湯及び水の区別を付ける必要があるものは，湯及び水の区別が容易に分かる表示をしなければならない。

**c)** 胴に流れ方向を示す必要のある水栓については，矢印を表示しなければならない（止水栓，電気開閉式の水栓など）。

**11.2 包装表示** 水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の包装には，次の事項を表示しなければならない。

**a)** 種類，呼び径及び補助区分（必要に応じて，機能を付記する。）

**備考** 種類，補助区分及び機能については，**表 7** に示す略称を用いてもよい。

**b)** 製造業者名又はその略号

**c)** ねじの種類

**附属書 1 図 3** に示す $d_1$ 部のねじ，**附属書 2 図 2** に示す $d_1$，$d_2$ 部のねじ，**附属書 2 図 5** に示す $d_1$，$d_2$，$d_3$ 部のねじ，**附属書 3 図 1** に示す $d_1$，$d_3$ 部のねじ及び**附属書 3 図 3** に示す $d_1$ 部のねじの寸法許容差が，**JIS B 0202** の**付表 2** による場合は，そのねじ記号 G（**例** G $^1/_2$）を表示しなければならない。止水栓の場合は，流入側及び流出側のねじの種類及びおねじ，めねじの区分又は，接続管径を表示しなければならない。

**例1.** R $^1/_2$ × $\phi$ 12.7
流入側　接続管径

**2.** G $^1/_2$（おねじ） × PJ $^1/_2$
流入側　流出側

**3.** PJ $^1/_2$ × R $^1/_2$ × G $^1/_2$（めねじ）
流入側　流出側　分岐接続口

**d)** 胴及びシート部の材料

**表 7 種類，補助区分及び機能の略称**

| 種類 | | 補助区分 | | 機能 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 名称 | 略称 | 名称 | 略称 | 名称 | 略称 |
| 壁付サーモスタット湯水混合水栓 | 壁付サーモ | シャワー形 | シャワ | 寒冷地用 | 寒 |
| 台付サーモスタット湯水混合水栓 | 台付サーモ | シャワーバス形 | シャワバス | 共用形 | 共 |
| 壁付ミキシング湯水混合水栓 | 壁付ミキシング | 埋込形 | 埋込 | 節水こま形 | 節水 |
| 台付ミキシング湯水混合水栓 | 台付ミキシング | 吐水口回転形 | 吐水口回転 | 負圧破壊機構付 | 負圧破壊 |
| 壁付シングル湯水混合水栓 | 壁付シングル | 自在形 | 自在 | 逆流防止装置付 | 逆止 |
| 台付シングル湯水混合水栓 | 台付シングル | 横自在形 | 横自在 | 一時止水式 | 一時止水 |
| 壁付 2 ハンドル湯水混合水栓 | 壁付 2 ハンドル | ホース接続形 | ホース接続 | 定量止水式 | 定量止水 |
| 台付 2 ハンドル湯水混合水栓 | 台付 2 ハンドル | 分岐形 | 分岐 | 自閉式 | 自閉 |
| | | 浄水器用 | 浄水 | 流量制御装置付 | 流量制御 |
| | | 電気温水器用 | 電温 | 泡まつ(沫)装置付 | 泡まつ |
| | | 分岐口付 | 分岐口 | 電気開閉式 | 電気開閉 |
| | | 吐水口水没形 | 吐水口水没 | 緊急止水装置付 | 緊急止水 |

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**12. 取扱説明書**　サーモスタット湯水混合水栓，ミキシング湯水混合水栓，シングル湯水混合水栓，2 ハンドル湯水混合水栓（シャワー形，シャワーバス形及びホース接続形），元止め式専用水栓，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓，一時止水式及び水抜き機構付きの場合は，次に示す内容の取扱説明書を付けなければならない。

**備考**　必要に応じて，製品本体への表示又はラベルで表示してもよい。

**a)**　使用方法

**b)**　使用上の注意事項

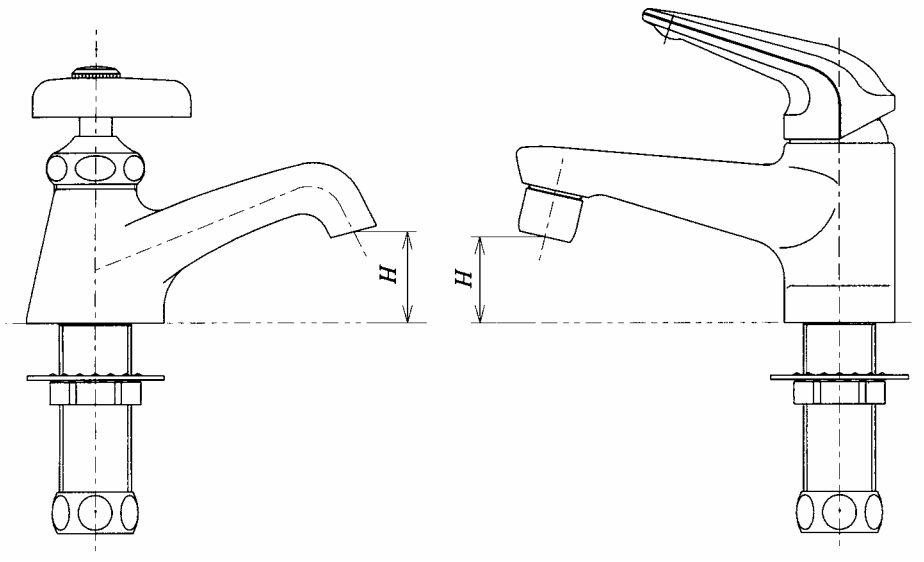
著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 1（規定）単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法

**1.　適用範囲**　この**附属書 1** は，単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法について規定する。

**2.　主要寸法**　単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法は，**附属書 1 図 1～3** による。ただし，形状は一例を示したもので，規定する寸法のほかは注文者，又は製造業者の考案意匠によることができる。

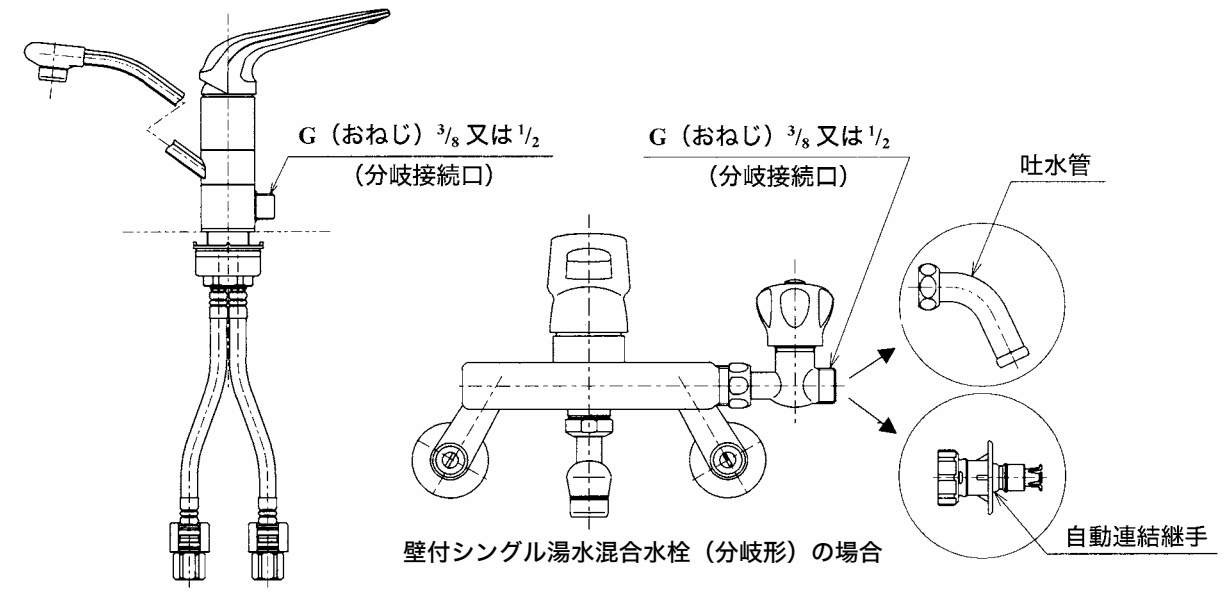



単位　mm

| 呼び径 | *H*（最小） |
|---|---|
| 13 | 25 |
| 20 | 40 |
| 25 | 50 |

立水栓の場合　　台付シングル湯水混合水栓の場合

**附属書 1 図 1　台付水栓の主要寸法**




台付シングル湯水混合水栓（分岐口付）の場合　　壁付シングル湯水混合水栓（分岐形）の場合

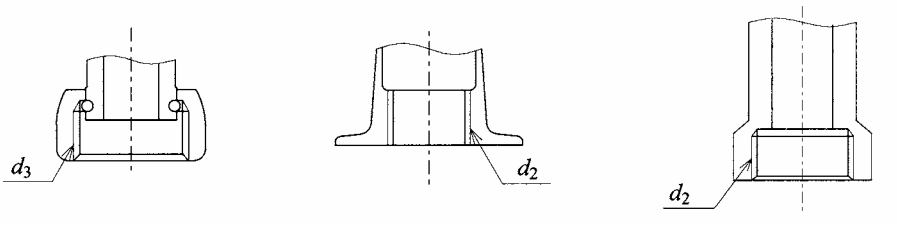
**備考**　分岐形の場合，分岐接続口のねじ部に吐水管又は自動連結継手を設けることができる。

なお，分岐接続口のねじ部は **JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

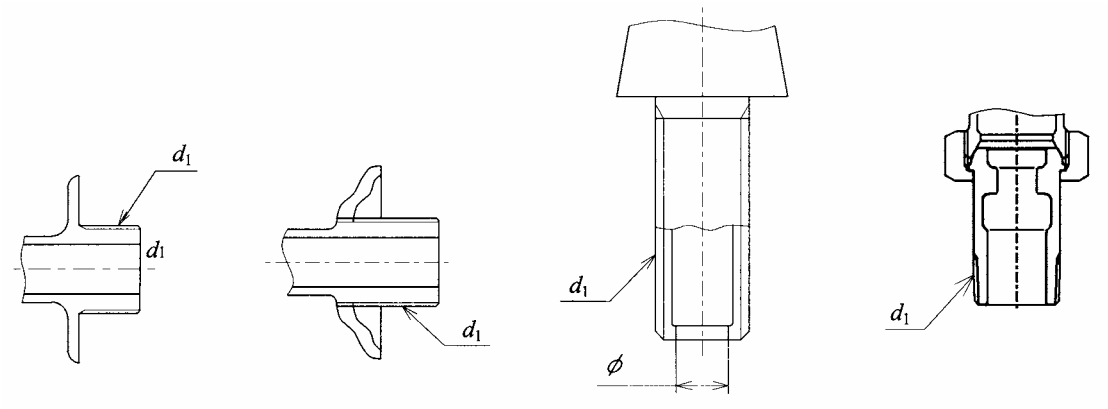
**附属書 1 図 2　分岐接続口の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




めねじ接続の場合




おねじ接続の場合

単位　mm

| 呼び径 | $d_1$ | | $d_2$ | | $d_3$ (袋ナット式の場合) | $d_4$ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | G（おねじ） | $^1/_2$ | G（めねじ） | $^1/_2$ | G（めねじ）$^1/_2$ | 13 |
| | R | | $R_p$ | | | |
| | | | $R_c$ | | | |
| 20 | G（おねじ） | $^3/_4$ | G（めねじ） | $^3/_4$ | G（めねじ）$^3/_4$ | 19.3 |
| | R | | $R_p$ | | | |
| | | | $R_c$ | | | |
| 25 | G（おねじ） | 1 | G（めねじ） | 1 | G（めねじ）1 | — |
| | R | | $R_p$ | | | |
| | | | $R_c$ | | | |

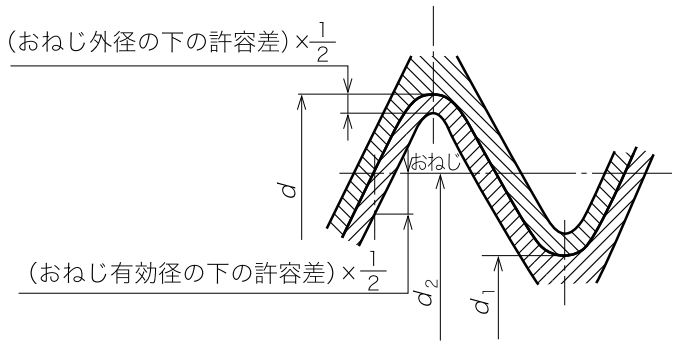
**備考**　$d_1$ の管用平行ねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

**附属書 1 図 3　取付部の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

## 附属書 1 表 1　給水栓取付ねじの寸法許容差




単位　mm

| 呼び径 | 外径　$d$ | | | 有効径　$d_2$ | | | 谷の径　$d_1$ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 基準寸法 | 上の許容差 | 下の許容差 | 基準寸法 | 上の許容差 | 下の許容差 | 基準寸法 | 上の許容差 | 下の許容差 |
| 13 | 20.955 | −0.25 | −0.534 | 19.793 | −0.25 | −0.534 | 18.631 | −0.25 | −0.534 |
| 20 | 26.441 | −0.25 | −0.534 | 25.279 | −0.25 | −0.534 | 24.117 | −0.25 | −0.534 |
| 25 | 33.249 | −0.25 | −0.610 | 31.770 | −0.25 | −0.610 | 30.291 | −0.25 | −0.610 |

**備考**　給水栓取付ねじは，“PJ”の記号を用いて表す。

**例**　PJ $^{1}/_{24}$　PJ $^{3}/_{4}$

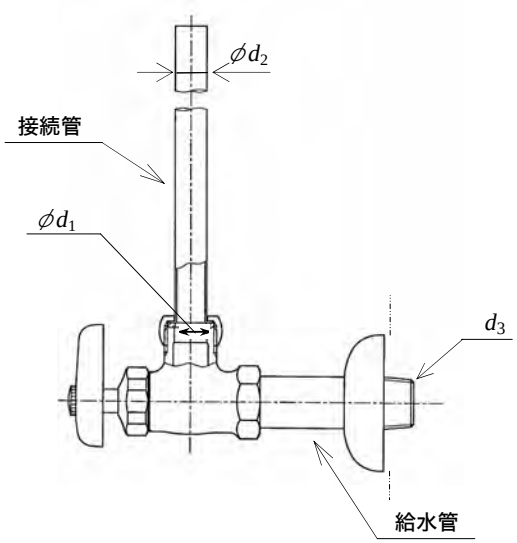
著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

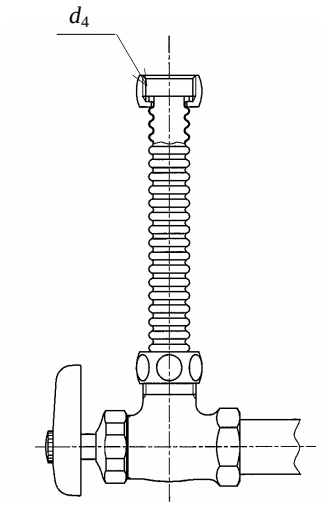
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 2（規定）止水栓の主要寸法

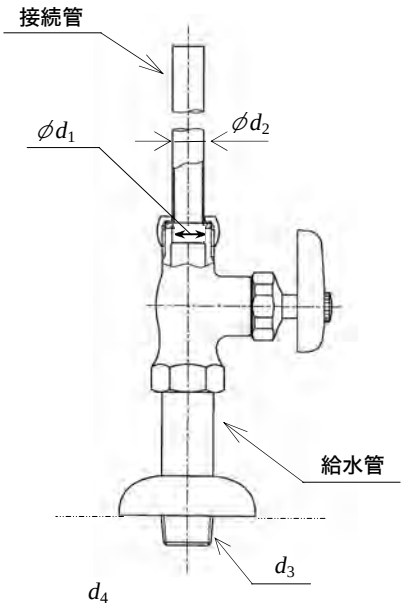
**1.　適用範囲**　この**附属書 2** は，止水栓の主要寸法について規定する。

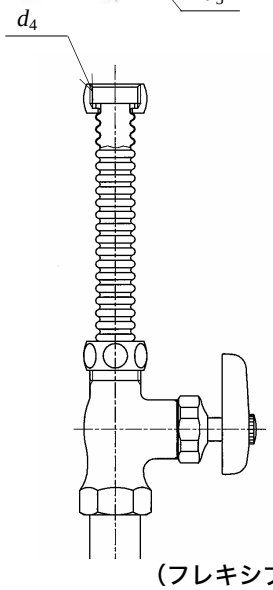
**2.　引用規格**　止水栓の主要寸法は，**附属書 2 図 1～4** による。ただし，形状は一例を示したもので，規定する寸法のほかは，注文者又は製造業者の考案意匠によることができる。




（フレキシブル接続管の場合）
**アングル形止水栓**




（フレキシブル接続管の場合）
**ストレート形止水栓**

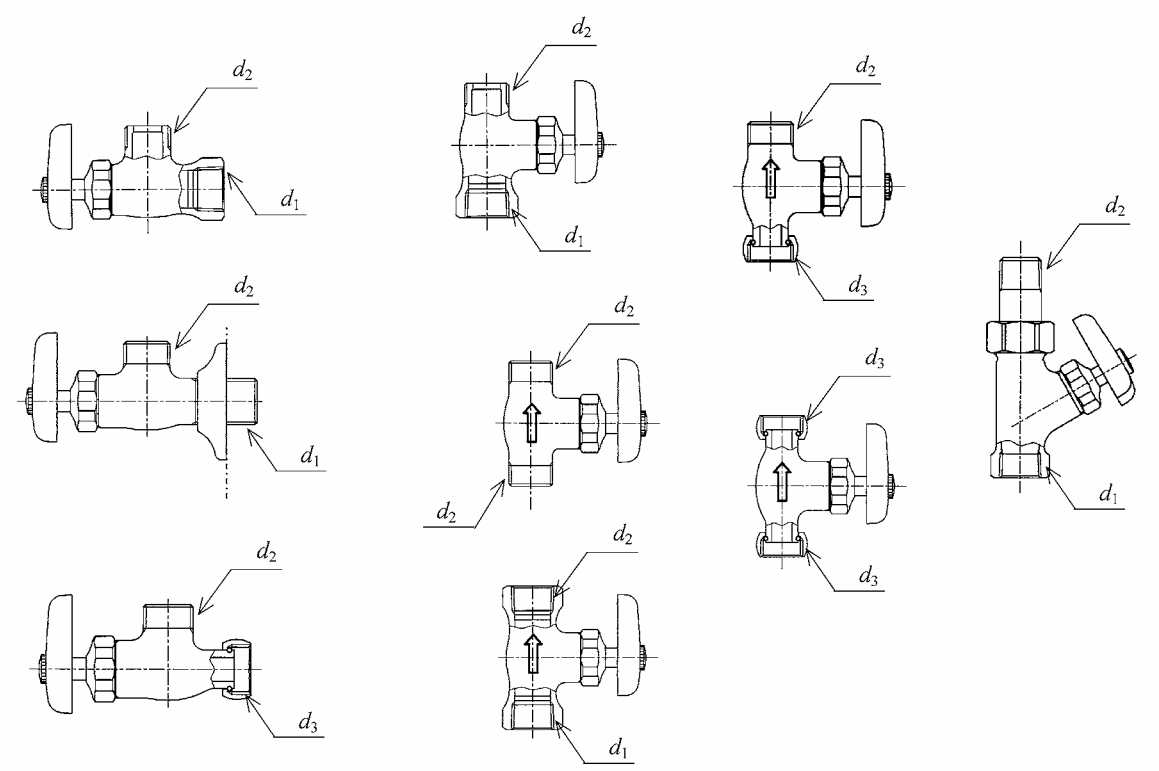
**単位**　mm

| 呼び径 | $d_1$ | $d_2$ | $d_3$ | $d_4$<br>（フレキシブル接続管の場合） |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 13 | 12.7 | R $^1/_2$ | G（めねじ）$^1/_2$ |
| 20 | 19.3 | 19 | R $^3/_4$ | G（めねじ）$^3/_4$ |
| 25 | 13 | 12.7 | R $^3/_4$ | G（めねじ）$^1/_2$ |

**附属書 2 図 1　アングル形及びストレート形止水栓の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




アングル形止水栓　　ストレート形止水栓　　Y形止水栓

| 呼び径 | $d_1$（流入側） | | $d_2$（流出側） | | $d_3$（袋ナット式の場合） |
|---|---|---|---|---|---|
| 13 | R | $^1/_2$ | R | $^1/_2$ | G(めねじ)$^1/_2$ |
| | $R_c$ | | $R_c$ | | |
| | $R_p$ | | $R_p$ | | |
| | G(おねじ) | | G(おねじ) | | |
| 20 | R | $^3/_4$ | R | $^1/_2$ 又は $^3/_4$ | G(めねじ)$^3/_4$ |
| | $R_c$ | | $R_c$ | | |
| | $R_p$ | | $R_p$ | | |
| | G(おねじ) | | G(おねじ) | | |

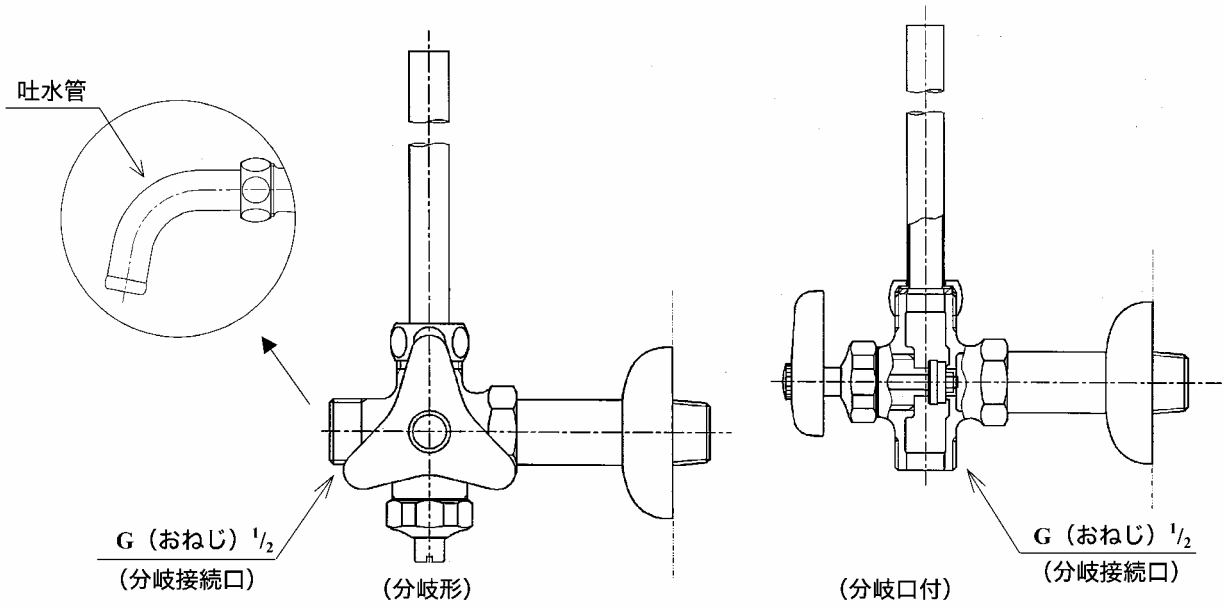
**備考**　アングル形，ストレート形止水栓の給水管及び接続管は，除くことができる。除いたとき，流入側及び流出側のねじはそれぞれ $d_1$，$d_2$，$d_3$ による。

なお，$d_1$，$d_2$ 部の管用平行ねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又は，この規格の**附属書 1 表 1** による。

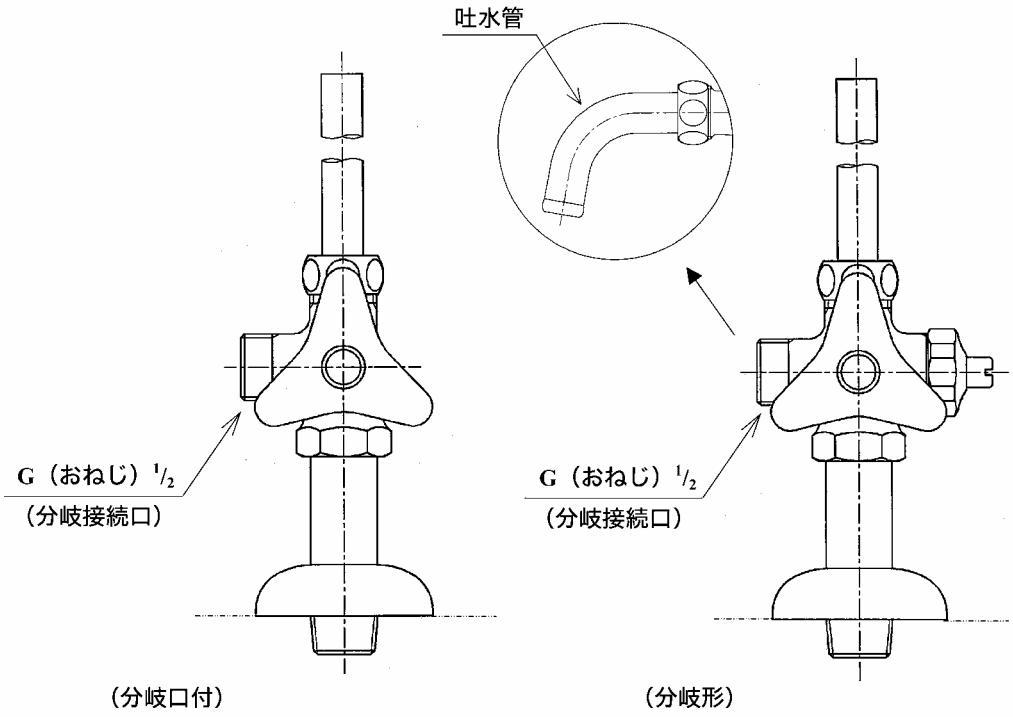
**附属書 2 図 2　給水管及び接続管を除いたアングル形，ストレート形止水栓及びY形止水栓の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




アングル形止水栓




ストレート形止水栓

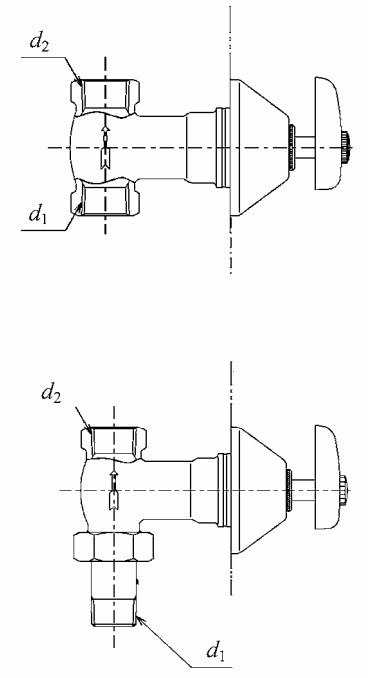
**備考**　分岐形の場合，分岐接続口のねじ部に吐水管を設けることができる。

なお，分岐接続口のねじ部の管用平行ねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

**附属書 2 図 3　分岐形及び分岐口付の分岐接続口の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

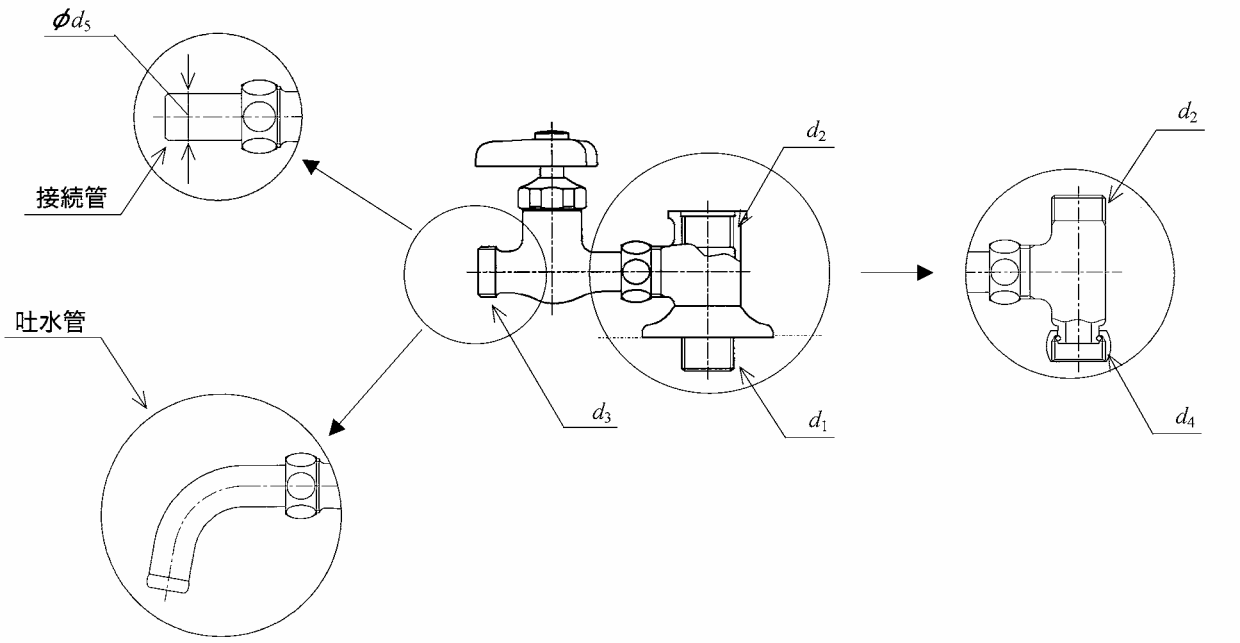



| 呼び径 | $d_1$（流入側） | | $d_2$（流出側） |
|---|---|---|---|
| 13 | $R_c$ | $^1/_2$ | $R_c\ ^1/_2$ |
| | R | | |
| 20 | $R_c$ | $^3/_4$ | $R_c\ ^3/_4$ |
| | R | | |
| 25 | $R_c$ | 1 | $R_c\ 1$ |
| | R | | |

**附属書 2 図 4　腰高止水栓の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




**単位** mm

| 呼び径 | $d_1$<br>(流入側) | $d_2$<br>(分岐接続口) | | $d_3$<br>(流出側) | $d_4$<br>(流入側，袋ナット式の場合) | $d_5$ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | G（おねじ）$^1/_2$ | $R_c$<br>$R_p$<br>G（おねじ） | $^1/_2$ | G（おねじ） $^1/_2$ | G（めねじ）$^1/_2$ | 12.7<br>又は<br>16 |
| 20 | G（おねじ）$^3/_4$ | $R_c$<br>$R_p$<br>G（おねじ） | $^1/_2$<br>又は<br>$^3/_4$ | G（おねじ） $^1/_2$<br>又は<br>$^3/_4$ | G（めねじ）$^3/_4$ | |

**備考** 流出側ねじ部に，吐水管又は接続管を設けることができる。ただし，流入側，分岐接続口及び流出側のねじは，それぞれ $d_1$，$d_2$，$d_3$，$d_4$ による。

なお，$d_1$，$d_2$，$d_3$ 部の管用平行ねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

**附属書 2 図 5　分岐止水栓の主要寸法**

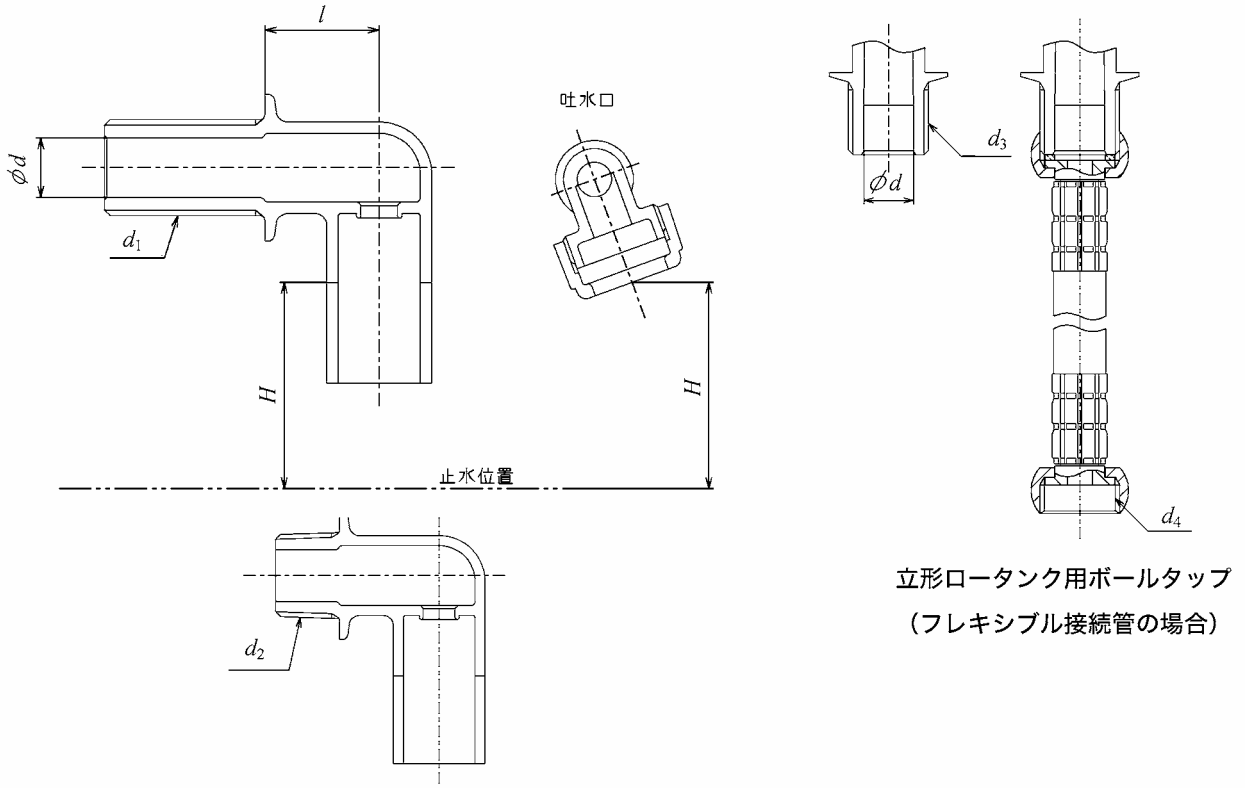
著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 3（規定）ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法

**1.　適用範囲**　この**附属書 3** は，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法について規定する。

**2.　主要寸法**　ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法は，**附属書 3 図 1～3** による。ただし，形状は一例を示したもので，規定する寸法のほかは，注文者又は製造業者の考案意匠によることができる。




横形ボールタップ及び横形ロータンク用ボールタップ

立形ロータンク用ボールタップ
（フレキシブル接続管の場合）

単位　mm

| 呼び径 | $d_1$ | $d_2$ | $d_3$ | $d_4$（フレキシブル接続管の場合） | $d$ | $H$（最小） | $l$（最小） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | G（おねじ）$^1/_2$ | R $^1/_2$ | G（おねじ）$^1/_2$ | G（めねじ）$^1/_2$ | 13 | 35 | 25 |
| 20 | G（おねじ）$^3/_4$ | R $^3/_4$ | － | － | － | 50 | 40 |
| 25 | G（おねじ）1 | R 1 | － | － | － | 60 | 50 |

**備考1.**　$d_1$，$d_3$ 部のねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

**2.**　つば部の形状は，円とするほか，注文者又は製造業者の考案意匠によって回転防止のため，突起などを設けることができる。

**3.**　$\phi d$ の規定は，差込み接続形だけに適用する。

**4.**　$H$ 寸法は，吐水口先端が水平でない場合，吐水口端面の中心から止水位置までとする。

**5.**　吐水口切込み部分の断面積（バルブレバーの断面積を除く。）がシート断面積より大きい場合，$H$ 寸法は切込み上端から止水位置までとする。

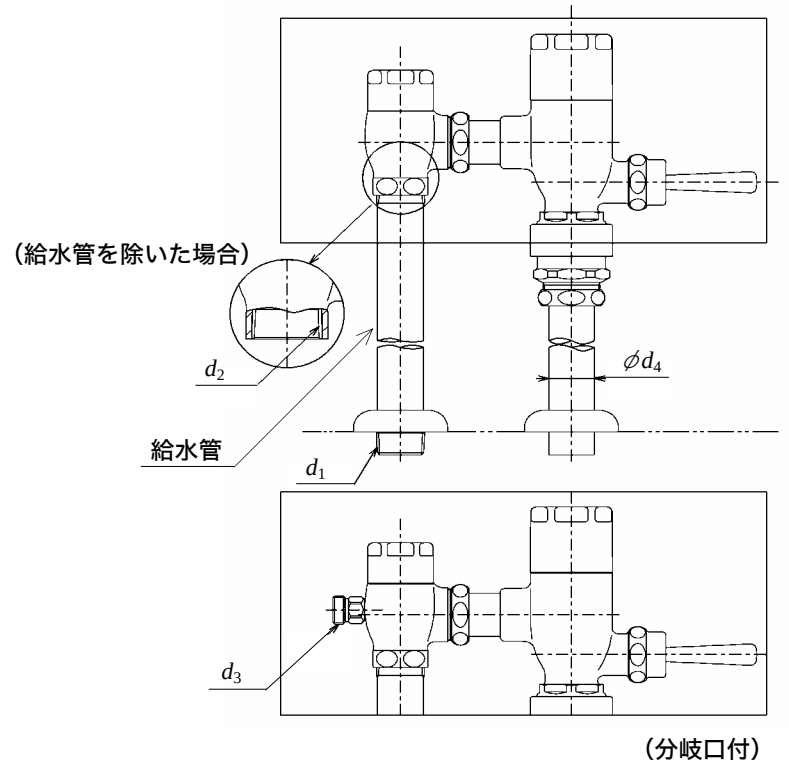
**6.**　$H$ 寸法は，吐水口水没形には適用しない。

**7.**　止水位置は，使用水圧が 0.75 MPa のときのものである。

**附属書 3 図 1　ボールタップの主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




単位　mm

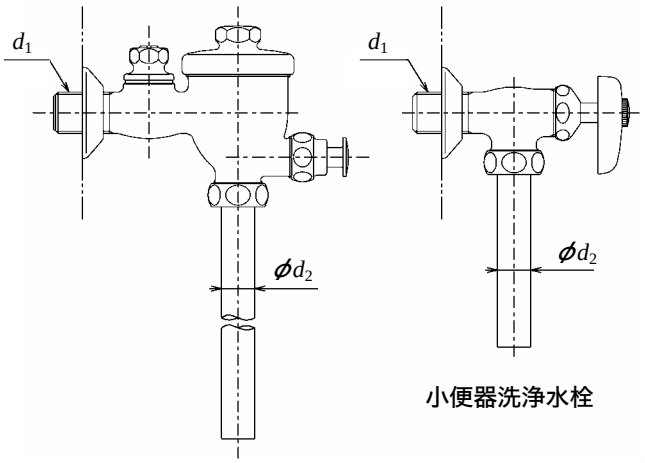
| 呼び径 | $d_1$ | $d_2$ | $d_3$<br>（分岐接続口） | $d_4$ |
|---|---|---|---|---|
| 25 | R 1 | $R_c$ 1 | G（おねじ）$^1/_2$<br>G（おねじ）$^3/_8$ | 31.75 |

**備考**　給水管は除くことができる。除いたとき，ねじは $d_2$ による。

**附属書 3 図 2　大便器洗浄弁の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




単位　mm

| 呼び径 | $d_1$ | $d_2$ |
|---|---|---|
| 13 | G　（おねじ）$^1/_2$ | 16 |

**備考**　$d_1$ 部のねじは，**JIS B 0202** の**付表 1**（基準山形及び基準寸法）による。ただし，寸法許容差は，**JIS B 0202** の**付表 2**（寸法許容差）又はこの規格の**附属書 1 表 1** による。

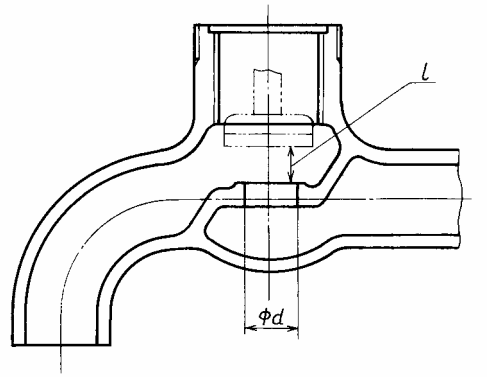
**附属書 3 図 3　小便器洗浄弁及び小便器洗浄水栓の主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 4（参考）こま式・固定式の水栓の共通主要寸法

この**附属書 4** は，こま式・固定式の水栓の主要寸法について，参考のため記載するものであり，規定の一部ではない。

こま式・固定式の水栓の共通主要寸法を，**附属書 4 図 1** に示す。




**単位** mm

| 呼び径 | *d*<br>（シート口径） | *l*<br>（リフト） |
|---|---|---|
| 13 | 9 | 3 |
| 20 | 15 | 4 |
| 25 | 18 | 5 |

**備考1.** 呼び径 13 のシートの口径は，湯水混合水栓の湯側では，10 mm の場合がある。

**2.** 呼び径 13 の台付 2 ハンドル湯水混合水栓（埋込形），壁付 2 ハンドル（埋込形，シャワー形，シャワーバス形）及び腰高止水栓は，シート口径を 12 mm とするのが望ましい。

**附属書 4 図 1　こま式・固定式の水栓の共通主要寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 5（参考）こま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法

この**附属書 5** は，水栓に用いるこま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法について，参考のため記載するものであり，規定の一部ではない。

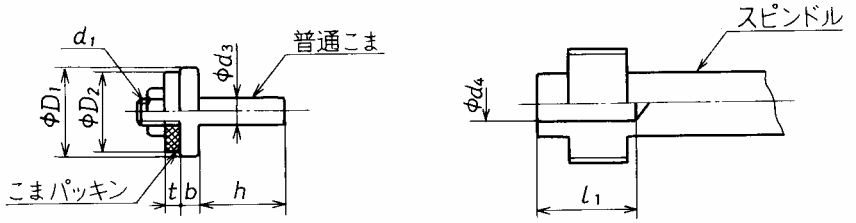
水栓に用いるこま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法を，次に示す。

**a)** 普通こま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法を，**附属書 5 図 1** に示す。ただし，呼び径 13 で，**附属書 5 表 1** に示すものは，**附属書 5 図 2** に示す。

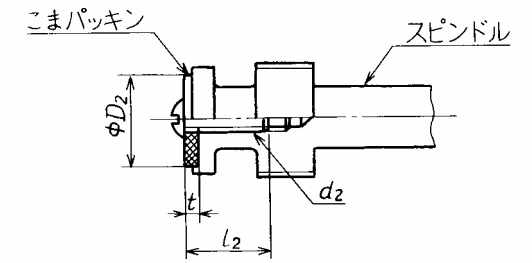
**b)** 節水こま，こまパッキン及びスピンドルの形状･寸法を，**附属書 5 図 3** に示す。

**附属書 5 表 1　こま，こまパッキン及びスピンドルの形状･寸法を附属書 5 図 2 に掲げる種類**

| 種類 |
|---|
| 台付 2 ハンドル湯水混合水栓（埋込形） |
| 壁付 2 ハンドル湯水混合水栓（埋込形） |
| 壁付 2 ハンドル湯水混合水栓（シャワーバス形，埋込形） |
| 壁付 2 ハンドル湯水混合水栓（シャワー形，埋込形） |
| 腰高止水栓 |




こま式の場合




固定式の場合

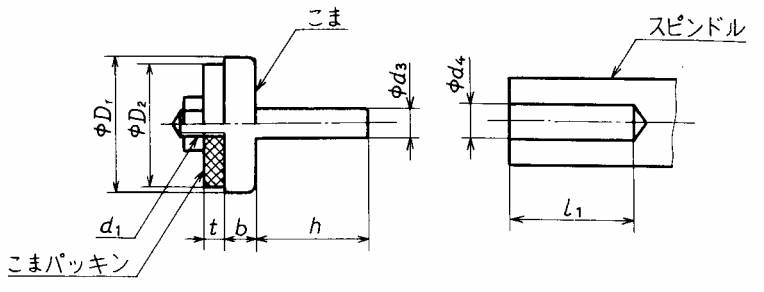
単位　mm

| 呼び径 | $D_1$ | $D_2$ | $b$ | $d_1$・$d_2$ | $d_3$ | $d_4$ | $h$ | $l_1$ | $l_2$ | $t$ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 15 | 14 | 2.5 | M4 | 5 | 5.3 | 15 | 17 | 10 | 3 |
| 20 | 21 | 20 | 4 | M5 | 5 | 5.3 | 19 | 21 | 10 | 4 |
| 25 | 24 | 23 | 4 | M6 | 5.5 | 5.8 | 20 | 22 | 10 | 4 |

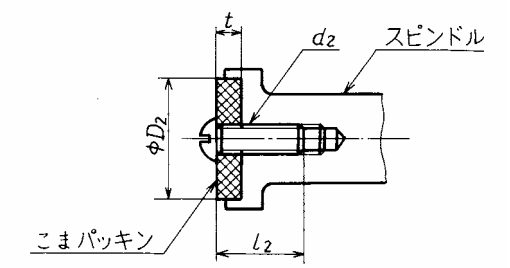
**附属書 5 図 1　普通こま，こまパッキン及びスピンドルの形状･寸法**

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.




こま式の場合

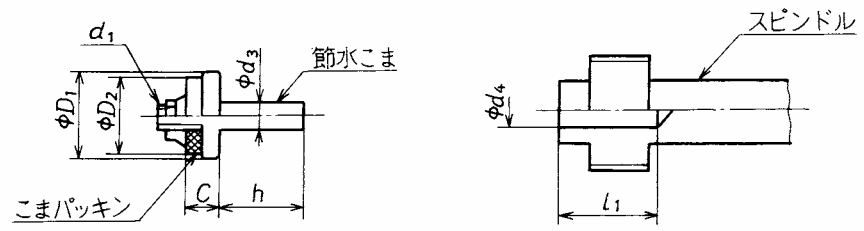



固定式の場合

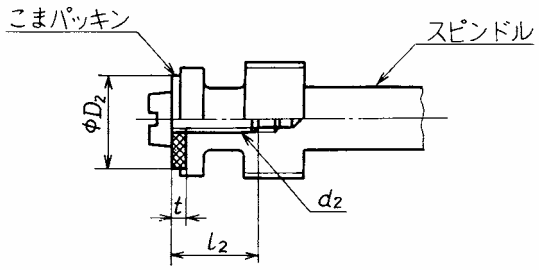
単位　mm

| 呼び径 | $D_1$ | $D_2$ | $b$ | $d_1$・$d_2$ | $d_3$ | $d_4$ | $h$ | $l_1$ | $l_2$ | $t$ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 19 | 18 | 3 | M5 | 5 | 5.3 | 15 | 17 | 10 | 3 |
| | 19 | 18 | 3 | M5 | 5 | 5.3 | 17 | 19 | 10 | 3 |

**附属書 5 図 2　呼び径 13 でシート口径が 12 mm の場合のこま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法**




こま式の場合




固定式の場合

単位　mm

| 呼び径 | $D_1$ | $D_2$ | $C$ | $d_1$・$d_2$ | $d_3$ | $d_4$ | $h$ | $l_1$ | $l_2$ | $t$ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 15 | 14 | 5.5 | M4 | 5 | 5.3 | 15 | 17 | 10 | 3 |

**附属書 5 図 3　節水こま，こまパッキン及びスピンドルの形状・寸法**

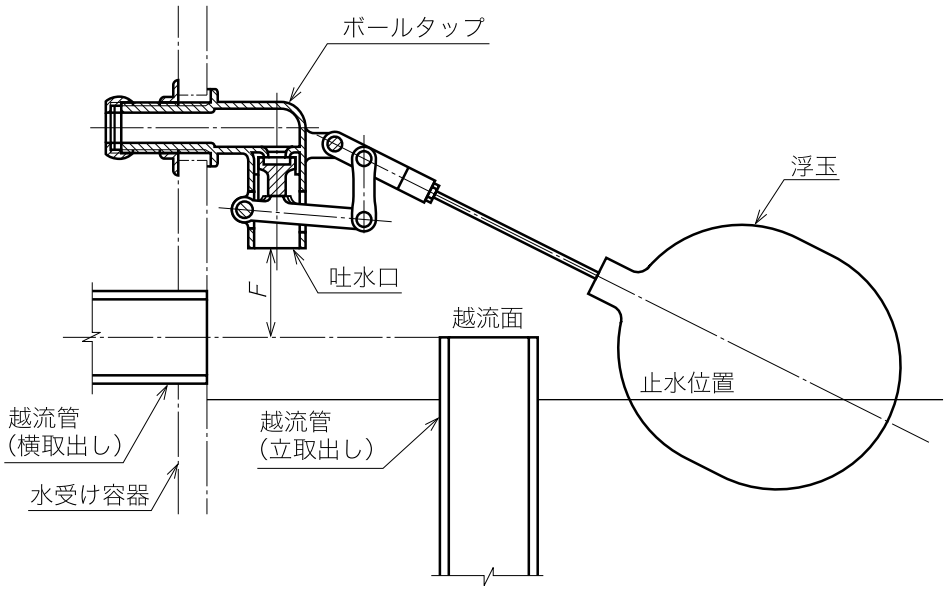
著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

# 附属書 6（参考）ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間

この**附属書 6** は，ボールルタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間について，参考のため記載するものであり，規定の一部ではない。

ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間（*F*）を，**附属書 6 図 1** に示す。




**単位** mm

| 呼び径 | 吐水口空間 *F*（最小） |
|---|---|
| 13 | 25 |
| 20 | 40 |
| 25 | 50 |

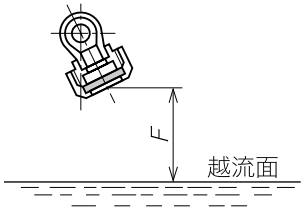
**備考1.** *F* の寸法は，切込み上端から越流面までとすることができる。

**2.** 吐水口端面が水平でない場合は，吐水口の中心から越流面までの距離が *F* の規定に合致する。

**3.** 越流面の取り方

**a)** 越流面が立取出しのときは，越流管上端面とする。

**b)** 越流面が横取出しのときは，越流管内径の中心面とする。




**附属書 6 図 1　ボールタップと水受け容器とを組み合わせた場合の吐水口空間**

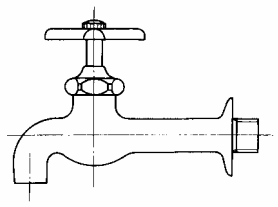
著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

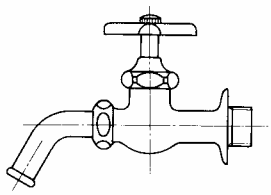
# 附属書 7（参考）給水栓の形状

この**附属書 7** は，本体**表 1** に示す給水栓の種類（補助区分含む。）別の形状の代表例を参考として示すものであり，規定の一部ではない。

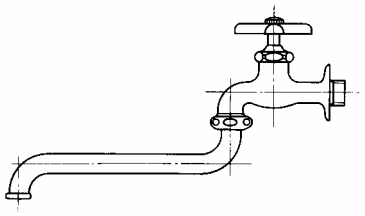
給水栓の形状を，次に示す。



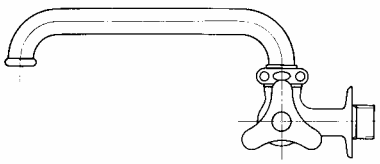
横水栓



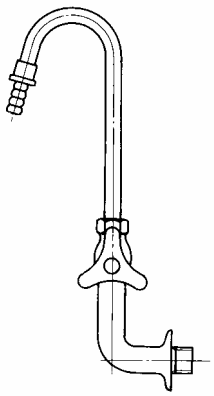
横水栓（吐水口回転形）



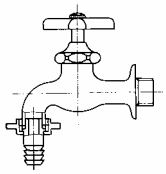
横水栓（吐水口回転形）



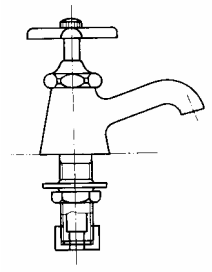
横水栓（横自在形）



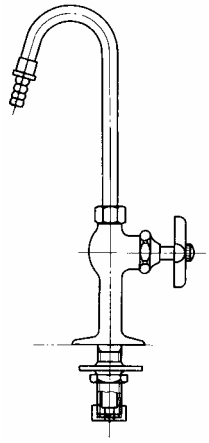
横水栓（グーズネック形）



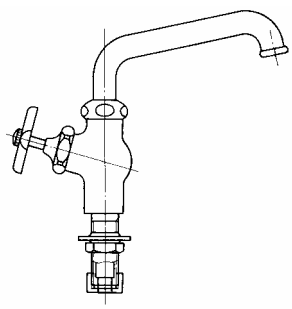
横水栓（ホース接続形）



立水栓



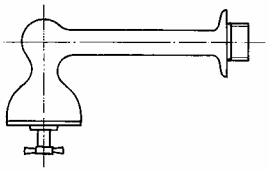
立水栓（グーズネック形）



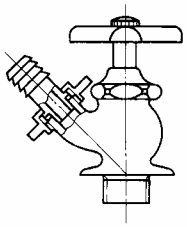
立水栓（自在形）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

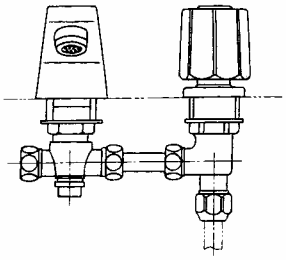
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



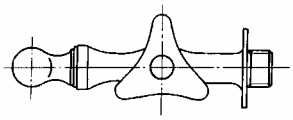
横形衛生水栓



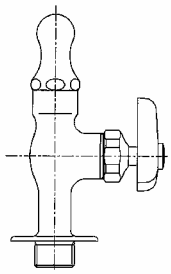
立水栓（ホース接続形）



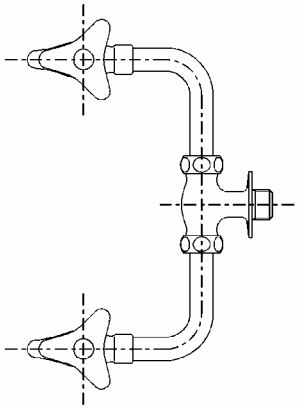
立水栓（埋込形）

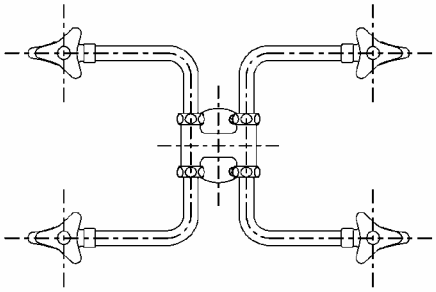


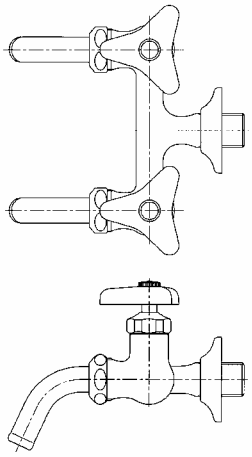
横形水飲水栓



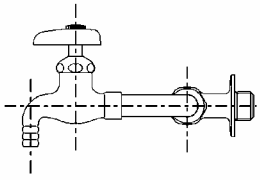
立形水飲水栓



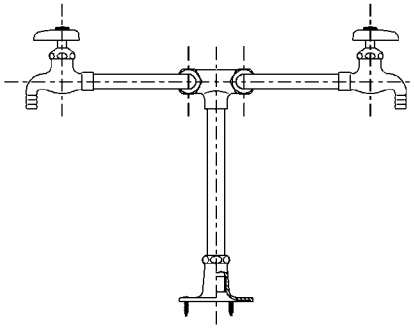




横水栓（吐水口回転形，2 口）



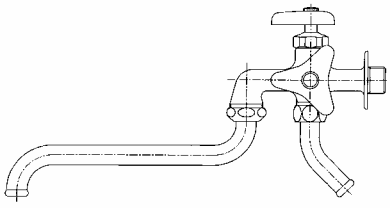
壁付化学水栓（2 口）



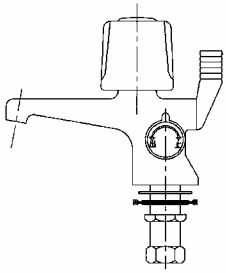
台付化学水栓（振分 4 口）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

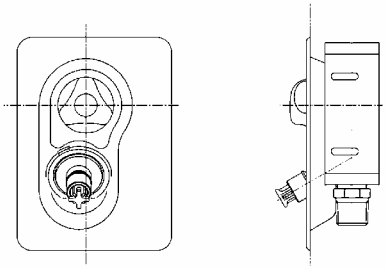
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



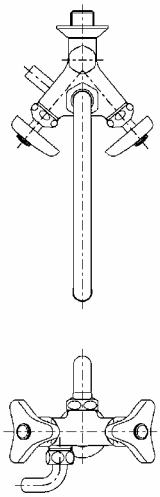
横水栓（自在形，2口）



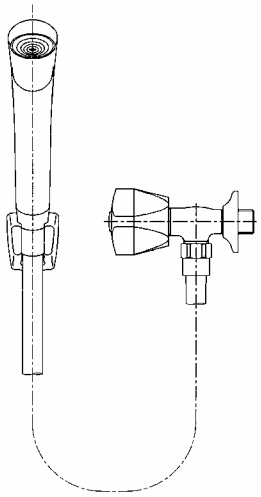
立水栓（分岐形，ホース接続形）



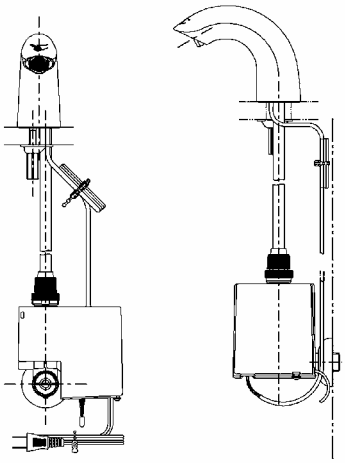
横水栓（埋込形，ホース接続形，緊急止水装置付）



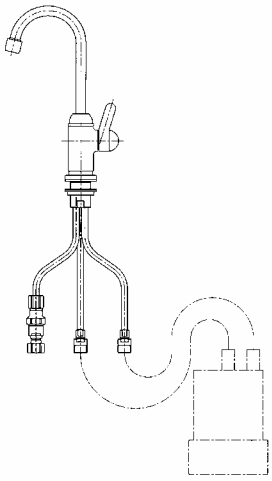
横水栓（分岐形）



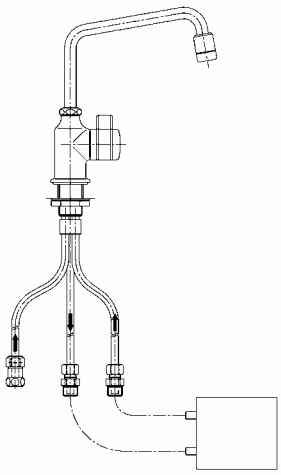
横水栓（シャワー形）



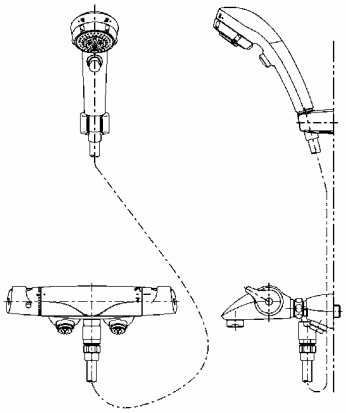
立水栓（電気開閉式）



元止め式専用水栓（浄水器用）



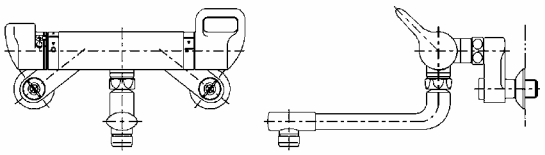
元止め式専用水栓（電気温水器用）



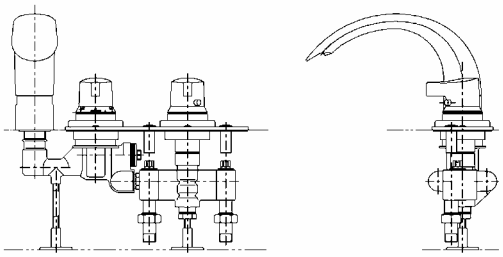
壁付サーモスタット湯水混合水栓
（シャワーバス形）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

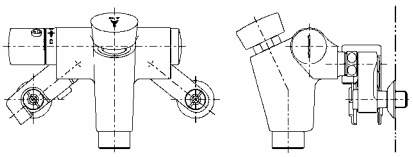
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



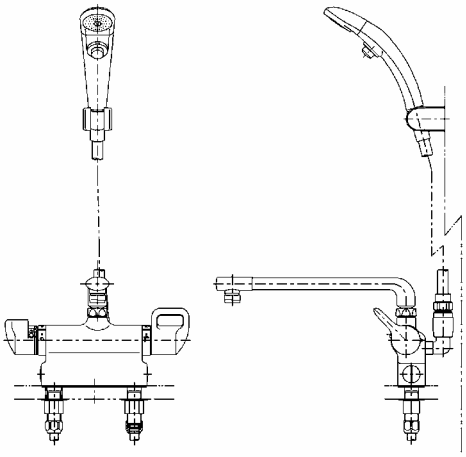
壁付サーモスタット湯水混合水栓



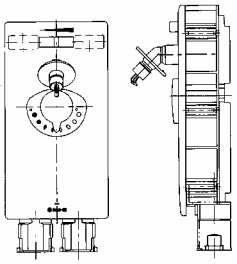
台付サーモスタット湯水混合水栓（埋込形，定量止水式）



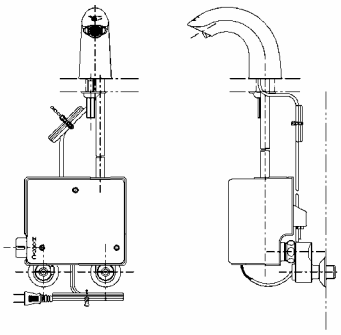
壁付サーモスタット湯水混合水栓（自閉式）



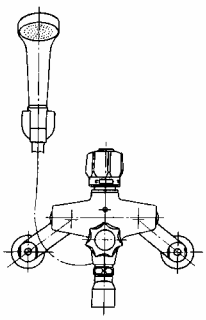
台付サーモスタット湯水混合水栓（シャワーバス形）



壁付ミキシング湯水混合水栓（埋込形，
ホース接続形，緊急止水装置付）



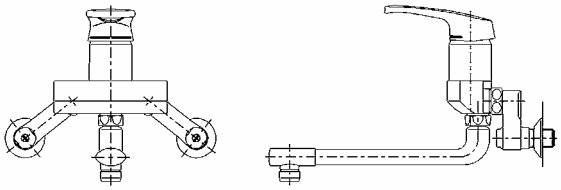
台付サーモスタット湯水混合水栓（電気開閉式）



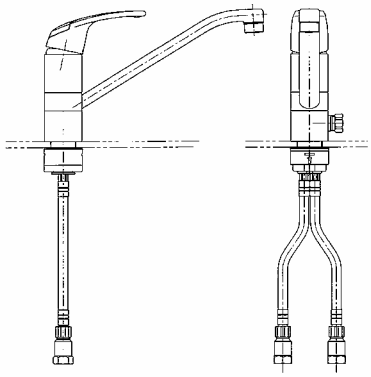
壁付ミキシング湯水混合水栓（シャワーバス形）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

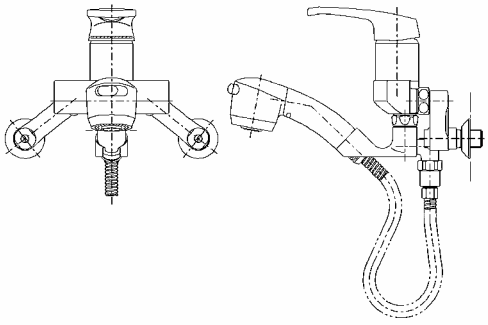
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



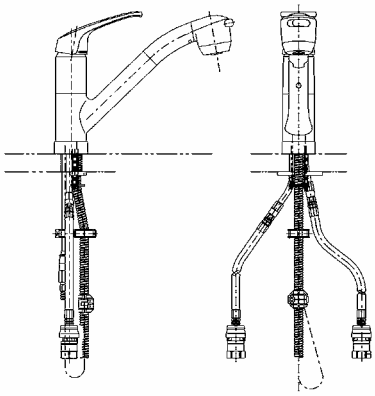
壁付シングル湯水混合水栓



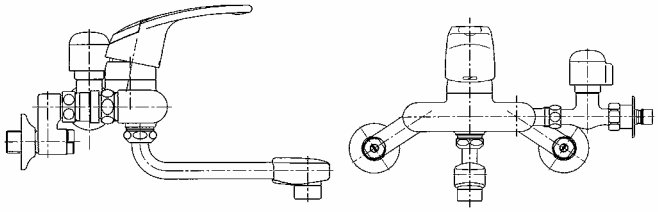
台付シングル湯水混合水栓（分岐口付）



壁付シングル湯水混合水栓（シャワー形）



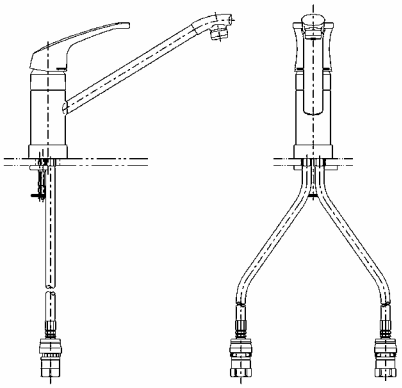
台付シングル湯水混合水栓（シャワー形）



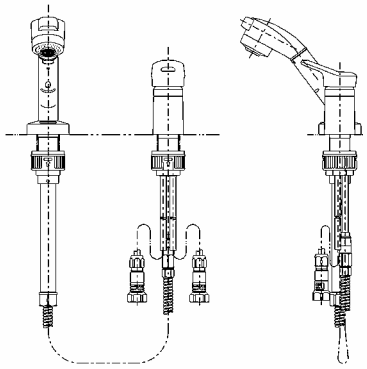
壁付シングル湯水混合水栓（分岐形，ホース接続形）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

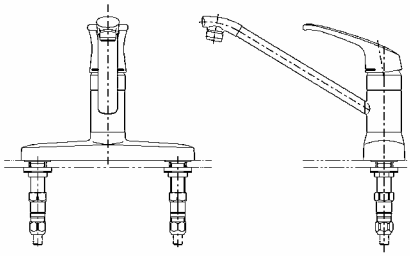
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



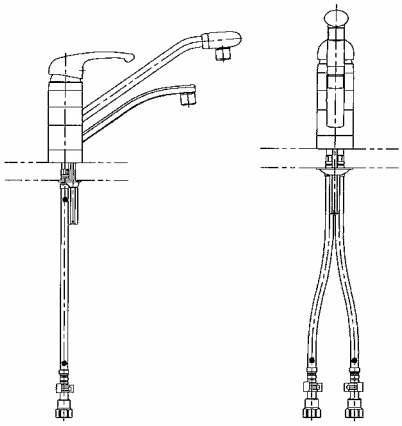
台付シングル湯水混合水栓



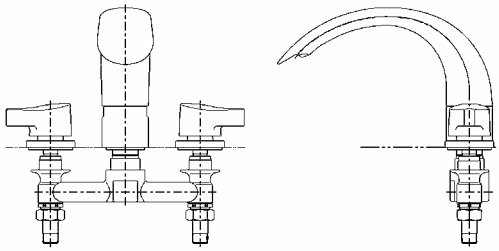
台付シングル湯水混合水栓（シャワー形）



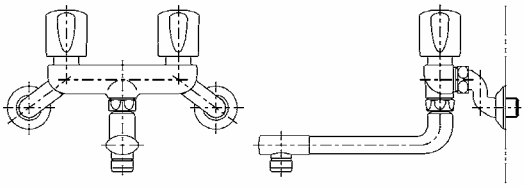
台付シングル湯水混合水栓



台付シングル湯水混合水栓（2 口）



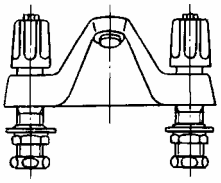
台付 2 ハンドル湯水混合水栓（埋込形）



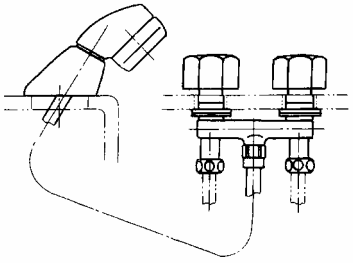
壁付 2 ハンドル湯水混合水栓

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

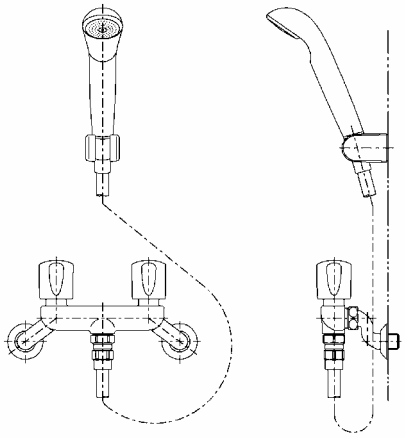
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



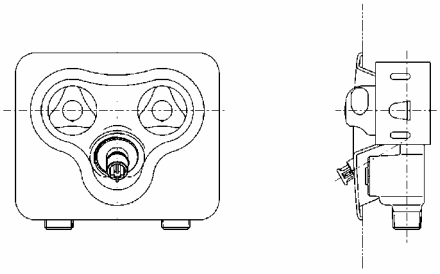
台付 2 ハンドル湯水混合水栓



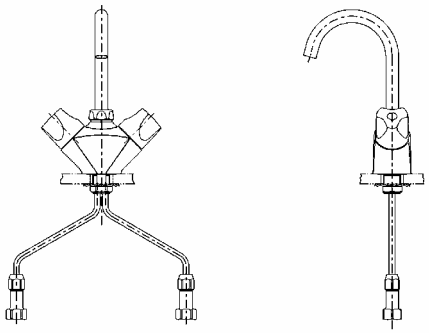
台付 2 ハンドル湯水混合水栓
（シャワー形）



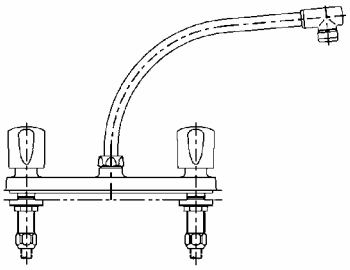
壁付 2 ハンドル湯水混合水栓（シャワー形）



壁付 2 ハンドル湯水混合水栓（埋込形，
ホース接続形，緊急止水装置付）



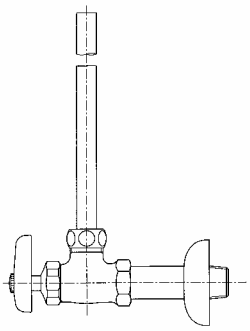
台付 2 ハンドル湯水混合水栓



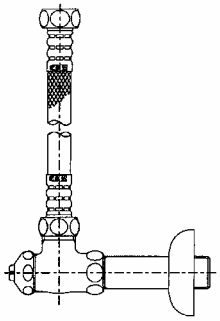
台付 2 ハンドル湯水混合水栓

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

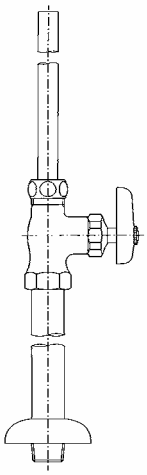
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



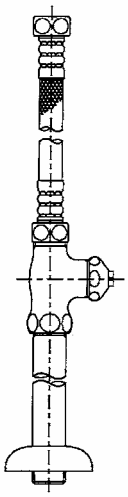
アングル形止水栓



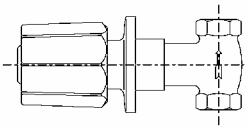
アングル形止水栓
（フレキシブル接続管の場合）



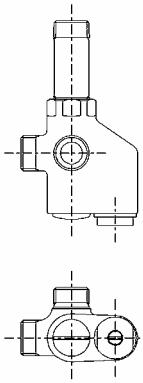
ストレート形止水栓



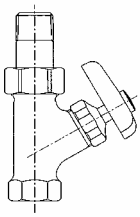
ストレート形止水栓
（フレキシブル接続管の場合）



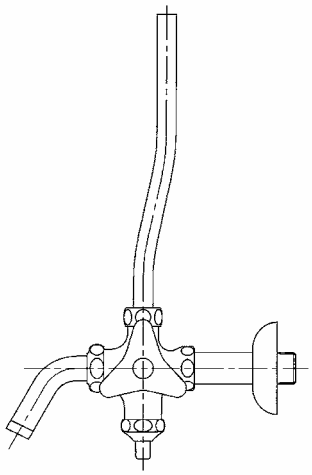
腰高止水栓



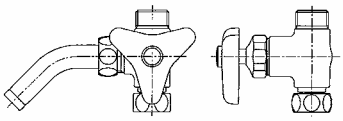
アングル形止水栓（分岐口付）



Y 形止水栓



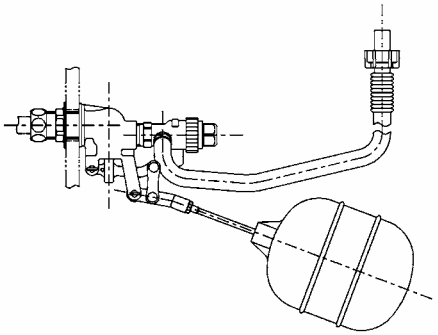
アングル形止水栓(分岐形)



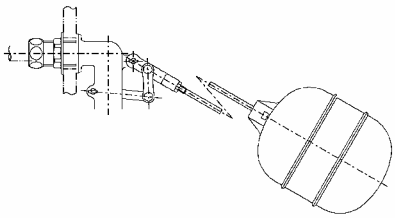
分岐止水栓

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

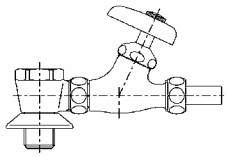
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.



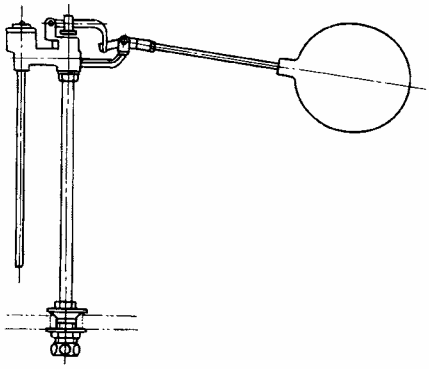
横形ロータンク用ボールタップ



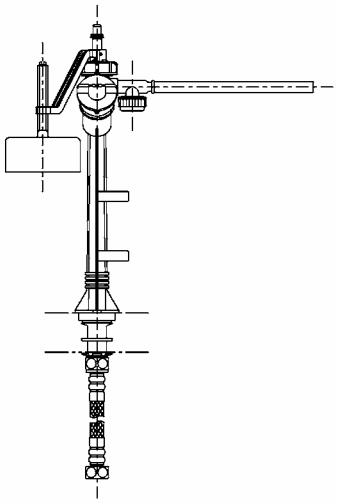
横形ボールタップ



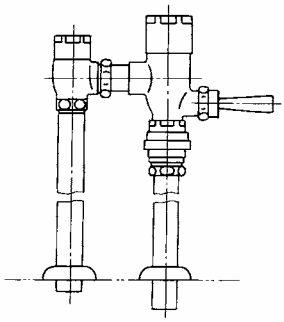
分岐止水栓



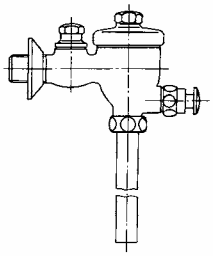
立形ロータンク用ボールタップ
（吐水口水没形）



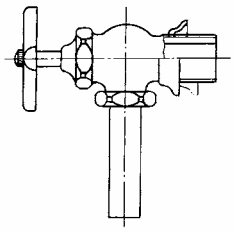
立形ロータンク用ボールタップ
（フレキシブル接続管の場合）



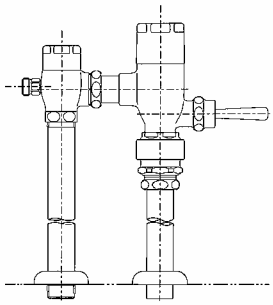
大便器洗浄弁



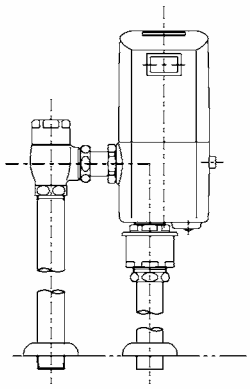
小便器洗浄弁



小便器洗浄水栓



大便器洗浄弁（分岐口付）



大便器洗浄弁（電気開閉式）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

JIS B 2061：2006

# 給水栓
# 解　説

この解説は，本体及び附属書に規定・記載した事柄，並びにこれらに関連した事柄を説明するもので，規格の一部ではない。

この解説は，財団法人日本規格協会が編集・発行するものであり，この解説に関する問合せは，財団法人日本規格協会へお願いします。

## 1.　制定・改正の趣旨及び経緯

**1.1　前回までの改正の趣旨**　この規格は，1950 年 12 月に制定されたものであるが，その後数回の改正を経て今日に至っている。

1982 年 3 月の改正では，節水型社会への移行を推進する観点から，“節水こま”の規定を追加し，併せて，“こまの交換寸法”を参考として示した。

1984 年 10 月の改正では，規定内容を性能重視へ移行すべきとの意見があり，従来の構造・形状・寸法・材料を主体とした規格から，品質・性能・互換性寸法を主体にした性能規格に改正した。

1991 年 8 月の改正では，消費者の多様化ニーズに障害となることがないようにすべきとの意見によって海外品も対象とし，より性能を重視した規格とするために，特定使用材料の廃止，性能上必要不可欠な寸法だけの規定などを中心に改正した。

1997 年 6 月の改正では，規制緩和，国際整合性，消費者保護及び高齢者福祉などの社会的ニーズ，水道法施行令の改正などの観点から規定内容を大幅に見直し，併せて，1996 年 7 月に改正された **JIS Z 8301**（規格票の様式）に基づき，規格様式を改めた。

2004 年 3 月の改正では，水質基準の改正に伴う浸出性能基準の改正に対応するための浸出性能判定基準値の改正，　1999 年 10 月からの SI 単位への全面移行による従来単位及び数値の削除，並びにシングルレバー湯水混合水栓の開閉操作方向を統一するための猶予期間が満了したことによって，関係規定を削除した。

**1.2　今回（2006 年）の改正の趣旨及び経緯**　今回の改正では，手動操作弁に替わって，節水・衛生上の観点から電気を使って作動する水栓・洗浄弁などの市場ニーズが増加してきたことによって，電気開閉式の規定を新たに追加した。また，現状の **JIS** に合致している商品をかんがみ，より分かりやすい規格内容にするため，種類，補助区分の見直しや規格の細分化などを中心に規格を改正した。

今回の改正における主な改正点は，次のとおりである。

**a)**　電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加

**b)**　種類の見直し（元止め式専用水栓，Y 形止水栓，分岐止水栓の追加など）

**c)**　補助区分の見直し（分岐形，分岐口付，浄水器用，電気温水器用の追加など）

**d)**　電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴う，性能・構造・試験方法の追加など

**e)**　包装表示の見直し（ねじの種類を表示，補助区分の略号の追加など）



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**f)** 給水栓の形状の追加

改正に当たっては，2003 年，社団法人日本バルブ工業会に組織された“給水栓 **JIS** 改正原案作成委員会”が改正原案を作成し，日本工業標準調査会へ提出した。

この改正原案は，2005 年 5 月の日本工業標準調査会機械要素技術専門委員会の審議を経て，平成 18 年 6 月 20 日付けで経済産業大臣によって改正された。

**2. 適用範囲**（本体の **1.**） 従来は，“この規格は，水道に直結する，しないにかかわらず，飲用水用以外の水道用も含む給水・給湯用水栓，ボールタップ及び洗浄弁に適用する。”と解説していたが，“人の飲用その他これに類する用途以外，すなわち，雨水，再生水，工業用水などにも適用することができる”と解釈されるおそれがある。

したがって，今回の改正では，解説に“この規格は，水道に直結する水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓並びに水道用受水槽の下流の配管に接続する水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓に適用する。”と明記することとした。

再生水など，人の飲用その他これに類する用途以外に使用すると腐食やごみ詰まりなどによって性能が維持できなくなる場合があるので，適切な材料や構造の器具を選択することが望ましい。また，飲用可能な井戸水も同様に性能が維持できなくなる場合があるので，適切な材料や構造の器具を選択することが望ましい。

従来，この規格は，制定当初から，前提として水道水などいわゆる上水を対象としていたことから，使用水質は，本体に規定しておらず解説に記載していた。近年，前記のように社会における様々な水質の水の利用拡大に伴い，本来，器具の性能を維持させるためには，使用水質は，本体に規定すべき内容であるとの意見があったが，検討課題が多く，今回の改正では，解説に明記することにとどめ，次回改正時の課題とした。

今回も太陽熱利用温水器専用水栓は，従来どおり，この規格に規定しないこととした。

今回の改正で，使用圧力は“MPa”と規定しているが，業界の部会において，圧力単位は“絶対圧”，“ゲージ圧”のどちらであるかを明示すべきとの指摘があったことから，“この規格で用いられる圧力は，ゲージ圧である。”と規定した。また，使用温度についても一部の電気温水器で高温貯湯形のものが普及しており，給湯温度の上限を 85 ℃にすべきとの意見もあったが，関連業界との調整が必要なため，本件については，次回改正時の課題とした。

## 3. 各項目の改正点及び補足説明

**3.1 定義**（本体の **3.**） 今回の改正で，**JIS B 0100** に定義されていない“電気開閉式”，“分岐止水栓”，“分岐形”，“分岐口付”，“2 口, 3 口, 4 口”，“元止め式専用水栓”，“Y 形止水栓”，“泡まつ(沫)装置”，“整流装置”，“流量制御装置”，“ストレーナ（フィルタ）”及び“緊急止水装置”を新たに定義した。また，この解説“**3.2.2** 種類”で説明する名称の改正に従い，定義する名称を改正した。

なお，電気開閉式の“電気的”とは，AC，DC，自己発電など電力によって制御するものである。

**3.2 種類，呼び径及び補助区分**（本体の **4.**） 今回の改正で，区分，種類の一部の名称を簡略化，一部の種類の呼び径を削除，補助区分の名称を追加した。

1997 年の改正では，種類の名称は，構造・形状の違いなどによって細分化していたが，新たな種類を追加することによって従来でも多すぎるとの意見があり，種類がますます増えることになり非常に繁雑になることから，基本構造・形状別及び取付方法別による“種類”と種類を補完する構造・形状を示す“補助



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

区分”とで分類し合理化した。しかし，構造・性能をクリアしているのにもかかわらず，本体の**表 1** に適切な種類，補助区分がないものがあるとの意見から，種類，補助区分を見直すこととした。また，存在していない呼び径の給水栓があるとの意見もあり，併せて見直しすることとした。

市場での混乱を避ける意味から，新たに追加した種類（補助区分を含む。）の形状の代表例，及び現時点でデザイン変更などによって生産されていない形状の代表例について見直し，追加，整理を行い**附属書 7**（**参考**）に掲載した。また，規格制定当初からの対象種類の変遷を，**解説表 1** 及び**解説表 2** に示す。

以前は，水栓の適用箇所，使用目的から水道に直結するものと建築設備用で水道に直結せずに使用するものとに区分し，前者を A 形，後者を B 形としていたが，1979 年 3 月の改正で A 形を廃止した。

**3.2.1　区分**　従来，“単水栓”の種類に規定している“小便器洗浄水栓”は，小便器を洗浄することを目的とした器具であることから，洗浄弁のカテゴリーが適切であると判断し，“洗浄弁”の区分に入れることとし，区分の名称を“洗浄弁”から“洗浄弁・洗浄水栓”に改めた。

**3.2.2　種類**　現在，市場で普及している“元止め式専用水栓”“Y 形止水栓”“分岐止水栓”を新たに追加した。また，名称を簡略化又は，一般的な呼称に合わせるため，“壁付き化学水栓”から“壁付化学水栓”に，“台付き化学水栓”から“台付化学水栓”に，“壁付きサーモスタット湯水混合水栓”から“壁付サーモスタット湯水混合水栓”に，“台付きサーモスタット湯水混合水栓”から“台付サーモスタット湯水混合水栓”に，“壁付きミキシング湯水混合水栓”から“壁付ミキシング湯水混合水栓”に，“台付きミキシング湯水混合水栓”から“台付ミキシング湯水混合水栓”に，“壁付きシングルレバー湯水混合水栓”から“壁付シングル湯水混合水栓”に，“台付きシングルレバー湯水混合水栓”から“台付シングル湯水混合水栓”に，“壁付きツーハンドル湯水混合水栓”から“壁付 2 ハンドル湯水混合水栓”に，“台付きツーハンドル湯水混合水栓”から“台付 2 ハンドル湯水混合水栓”に，改めた。

**3.2.3　呼び径**　今回の改正で，次のとおり改めた。

**a)**　“台付ミキシング湯水混合水栓”の呼び径“20”は，現在，市場で普及されていなくて，また今後も普及されないと判断し，削除した。

**b)**　“Y 形止水栓”，“分岐止水栓”の呼び径は，それぞれ“13”，“20”と規定した。

**3.2.4　補助区分**　今回の改正で，次のとおり改めた。

**a)**　“横水栓”の“補助区分”に新たに“埋込形”，“2 口”，“3 口”，“4 口”，“分岐形”，“シャワー形”を追加した。また，“立水栓”の“補助区分”に新たに“2 口”，“3 口”，“4 口”，“分岐形”，“シャワー形”を追加し，“横水栓”と“立水栓”の“補助区分”が共通のため，“補助区分”枠を統合した。

**b)**　“元止め式専用水栓”の“補助区分”に　“浄水器用”，“電気温水器用”を規定した。

**c)**　“湯水混合水栓”の“補助区分”に新たに“2 口”，“3 口”，“4 口”，“分岐形”，“分岐口付”を追加した。

**d)**　“アングル形止水栓”，“ストレート形止水栓”の“補助区分”にそれぞれ“分岐形”，“分岐口付”を新たに追加し，それぞれ“補助区分”が共通のため，“補助区分”枠を統合した。

**e)**　“立形ロータンク用ボールタップ”の“補助区分”に新たに“吐水口水没形”を追加した。

**f)**　“大便器洗浄弁”の“補助区分”に新たに“分岐口付”を追加した。

**g)**　新たな分類方法による種類を補完するために，種類別に本体**表 1** のとおり，補完すべき構造・形状を規定した。



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説表 1　A 形給水栓規格の変遷**

| 種類 | | 呼び径 | 昭 25.12.25<br>制定<br>1950 年版 | 昭 35.3.1<br>改正<br>1960 年版 | 昭 39.3.1<br>改正<br>1964 年版 | 昭 45.7.1<br>改正<br>1970 年版 | 昭和 52.6.1<br>改正<br>1977 年版 | 昭 54.3.1<br>改正<br>1979 年版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 種 | 横水栓 | 10 | － | ○ | ○ | 廃止 | － | － |
| | | 13 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 20 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 25 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | 胴長横水栓 | 10 | － | ○ | ○ | 廃止 | － | － |
| | | 13 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 20 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 25 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| 2 種 | 横水栓 | 10 | ○ | ○ | ○ | 廃止 | － | － |
| | | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 16 | ○ | 廃止 | － | － | － | － |
| | | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 25 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | 胴長横水栓 | 10 | ○ | ○ | ○ | 廃止 | － | － |
| | | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |
| | | 25 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 |



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

白　　紙



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説表 2　B 形給水栓規格の変遷**

| 種類 | 呼び径 | | 昭和 25.12.25<br>制定<br>1950 年版 | 昭和 35.3.1<br>改正<br>1960 年版 | 昭和 39.3.1<br>改正<br>1964 年版 | 昭和 45.7.1<br>改正<br>1970 年版 | 昭和 52.6.1<br>改正<br>1977 年版 | 昭和 54.3.1<br>改正<br>1979 年版 | 昭和 57.3.1<br>改正<br>1982 年版 | 昭和 59.10.1<br>改正<br>1984 年版 | 昭和 63.1.1<br>改正<br>1988 年版 | 平成 3.7.1<br>改正<br>1991 年版 | 平成 9.6.20<br>改正<br>1997 年版 | 平成 18.6.20<br>改正<br>2006 年版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 旧 | 新 | | | | | | | | | | | | |
| 横水栓 | 3/8 | − | ○ | ○ | ○ | 廃止 | − | − | − | − | − | − | − | − |
| | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 3/4 | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 1 | 25 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 胴長横水栓 | 3/8 | − | ○ | ○ | ○ | 廃止 | − | − | − | − | − | − | 横水栓に統合 | − |
| | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | | − |
| | 3/4 | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| | 1 | 25 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| 立水栓① | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| 立水栓（腰高形）① | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 廃止 | − | − | − | − | 立水栓に統合 | − |
| 吐水口回転形横水栓 | − | 13 | − | − | − | − | − | | ○ | *○ | *○ | *○ | 横水栓に統合 | − |
| | − | 20 | − | − | − | − | − | | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| 吐水口回転形立水栓 | − | 13 | − | − | − | − | − | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | 立水栓に統合 | − |
| 自在水栓 | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | 横水栓に統合 | − |
| | 3/4 | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| 台付き自在水栓 | − | 13 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | 立水栓に統合 | − |
| | − | 20 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| 横形自在水栓 | 1/2 | 13 | − | − | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | 横水栓に統合 | − |
| | 3/4 | 20 | − | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| 衛生水栓 | 3/8 | − | − | ○ | ○ | 廃止 | − | − | − | − | − | − | 立形，横形に分 | − |
| | 1/2 | 13 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | 割 | − |
| 横形衛生水栓 | − | 13 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | ○ | ○ |
| 立形衛生水栓 | − | 13 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | ○ | ○ |
| カップリング付き横水栓 | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | 横水栓に統合 | − |
| | 3/4 | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| | 1 | 25 | − | − | − | − | − | − | − | ○ | ○ | ○ | | − |
| 散水栓 | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | 立水栓に統合 | − |
| | 3/4 | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | − |
| | 1 | 25 | − | − | − | − | − | − | − | ○ | ○ | ○ | | − |
| 横形グーズネック水栓② | 1/2 | 13 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | 横水栓に統合 | − |
| 立形グーズネック水栓③ | 1/2 | 13 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | 立水栓に統合 | − |
| 壁付き化学水栓⑯ | 1/2×1 口 | 13×1 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 1/2×2 口 | 13×2 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 1/2×3 口 | 13×3 口 | − | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | − | 13×4 口 | − | − | − | − | − | − | − | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| 台付き化学水栓⑰ | 1/2×1 口 | 13×1 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 1/2×2 口 | 13×2 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 1/2×3 口 | 13×3 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | 1/2×4 口 | 13×4 口 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | − | 13×2 口<br>振分け | − | − | − | − | − | − | − | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| | − | 13×4 口<br>振分け | − | − | − | − | − | − | − | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |
| 化学水栓 | 3/8 | − | − | ○ | ○ | 廃止 | − | − | − | − | − | − | − | − |



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説表 2　B 形給水栓規格の変遷（続き）**

| 種類 | 呼び径 | | 昭和 25.12.25<br>制定<br>1950 年版 | 昭和 35.3.1<br>改正<br>1960 年版 | 昭和 39.3.1<br>改正<br>1964 年版 | 昭和 45.7.1<br>改正<br>1970 年版 | 昭和 52.6.1<br>改正<br>1977 年版 | 昭和 54.3.1<br>改正<br>1979 年版 | 昭和 57.3.1<br>改正<br>1982 年版 | 昭和 59.10.1<br>改正<br>1984 年版 | 昭和 63.1.1<br>改正<br>1988 年版 | 平成 3.7.1<br>改正<br>1991 年版 | 平成 9.6.20<br>改正<br>1997 年版 | 平成 18.6.20<br>改正<br>2006 年版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 旧 | 新 | | | | | | | | | | | | |
| 横形水飲水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ |
| 立形水飲水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ |
| 元止め式専用水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ |
| 壁付 2 ハンドル湯水混合水栓④ | 1/2<br>3/4 | 13<br>20 | －<br>－ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | *○<br>○ | *○<br>○ | *○<br>○ | *○<br>○ | *○<br>○ | *○<br>○ |
| 湯水混合水栓（調節形） | 1/2<br>3/4 | －<br>－ | －<br>－ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | 廃止<br>廃止 | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ |
| 台付 2 ハンドル湯水混合水栓⑬ | －<br>－ | 13<br>20 | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | ○<br>－ | *○<br>－ | *○<br>－ | *○<br>－ | *○<br>－ | *○<br>○ | *○<br>○ |
| 台付き自在湯水混合水栓⑤ | － | 13 | － | － | － | － | － | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | 壁付 2 ハンドルに統合 | － |
| 洗面器用コンビネーション湯水混合水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ | *○ | 台付 2 ハンドルに統合 | － |
| 浴室用コンビネーション湯水混合水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | 台付 2 ハンドルに統合 | － |
| 埋込形湯水混合水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | 壁付 2 ハンドルに統合 | － |
| シャワー止水栓 | 1/2<br>3/4 | －<br>－ | －<br>－ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | 廃止<br>廃止 | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ |
| バス水栓 | 1/2<br>3/4 | －<br>－ | －<br>－ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | 廃止<br>廃止 | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ | －<br>－ |
| 壁付きハンドシャワー式湯水混合水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ | *○ | 壁付 2 ハドルに統合 | － |
| 壁付きハンドシャワー式シャワーバス水栓⑪ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ | *○ | 壁付 2 ハンドルに統合 | － |
| 台付きハンドシャワー式シャワーバス水栓⑫ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ | *○ | 台付 2 ハンドルに統合 | － |
| 埋込形シャワーバス水栓⑥ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | 壁付 2 ハンドルに統合 | － |
| 埋込形シャワー水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | 壁付 2 ハンドルに統合 | － |
| 壁付サーモスタット湯水混合水栓⑱ | －<br>－<br>－ | 13<br>20<br>25 | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | *○<br>○<br>○ | *○<br>○<br>○ |
| 台付サーモスタット湯水混合水栓⑲ | －<br>－<br>－ | 13<br>20<br>25 | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | －<br>－<br>－ | *○<br>○<br>○ | *○<br>○<br>○ |



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説表 2　B 形給水栓規格の変遷（続き）**

| 種類 | 呼び径 旧 | 呼び径 新 | 昭和 25.12.25 制定 1950 年版 | 昭和 35.3.1 改正 1960 年版 | 昭和 39.3.1 改正 1964 年版 | 昭和 45.7.1 改正 1970 年版 | 昭和 52.6.1 改正 1977 年版 | 昭和 54.3.1 改正 1979 年版 | 昭和 57.3.1 改正 1982 年版 | 昭和 59.10.1 改正 1984 年版 | 昭和 63.1.1 改正 1988 年版 | 平成 3.7.1 改正 1991 年版 | 平成 9.6.20 改正 1997 年版 | 平成 18.6.20 改正 2006 年版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 壁付ミキシング湯水混合水栓⑳ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| 台付ミキシング湯水混合水栓㉑ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | | ○ | 廃止 |
| 壁付シングル湯水混合水栓㉒ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| 台付シングル湯水混合水栓㉓ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ | *○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| アングル形止水栓⑦ | 3/8 | － | ○ | ○ | ○ | 廃止 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| ストレート形止水栓⑧ | 3/8 | － | ○ | ○ | ○ | 廃止 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| 腰高止水栓⑨ | 1/2 | 13 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3/4 | 20 | － | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | － | 25 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| Y形止水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ |
| 分岐止水栓 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | *○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ |
| 横形ロータンク用ボールタップ⑭ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 立形ロータンク用ボールタップ⑮ | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 横形ボールタップ⑩ | 3/8 | － | － | ○ | ○ | 廃止 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 1/2 | 13 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | － | 20 | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | － | 25 | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 大便器洗浄弁 | － | 25 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| 小便器洗浄弁 | － | 13 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | ○ | ○ |
| 小便器洗浄水栓 | 1/2 | 13 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | *○ | *○ | *○ | *○ | *○ |

**備考**　種類の名称は，制定以来，次のとおり変更した。

① 立水栓（丸形・平形）→立水栓（上向き・腰高形）→立水栓
② グーズネック水栓（横形）→横型グーズネック水栓→横水栓
③ グーズネック水栓（立形）→立型グーズネック水栓→立水栓
④ 湯水混合栓（固定形）→湯水混合水栓（固定形）→壁付き湯水混合水栓→壁付き自在湯水混合水栓→壁付き湯水混合水栓→壁付きツーハンドル湯水混合水栓→壁付 2 ハンドル湯水混合水栓
⑤ 台付き湯水混合水栓（自在式）→自在式台付き湯水混合水栓→台付き自在湯水混合水栓→台付きツーハンドル湯水混合水栓→台付 2 ハンドル湯水混合水栓
⑥ シャワーバス水栓→埋込形シャワーバス水栓→壁付きツーハンドル湯水混合水栓→壁付 2 ハンドル湯水混合水栓
⑦ 止水栓付給水管（アングル形）→給水管付アングルバルブ→給水管付きアングル形止水栓→アングル形止水栓
⑧ 止水栓付給水管（ストレート形）→給水管付ストレートバルブ→給水管付きストレート形止水栓→ストレート形止水栓
⑨ 胴長止水栓→腰高止水栓
⑩ ボールタップ（ハイタンク用）→ボールタップ→横形ボールタップ
⑪ 壁付きハンドシャワー式シャワーバス水栓（切換え）→壁付きハンドシャワー式シャワーバス水栓→壁付きツーハンドル湯水混合水栓→壁付 2 ハンドル湯水混合水栓
⑫ 台付きハンドシャワー式シャワーバス水栓（切換え）→台付きハンドシャワー式シャワーバス水栓→台付きツーハンドル湯水混合水栓→台付 2 ハンドル湯水混合水栓
⑬ 台付き湯水混合水栓→台付きツーハンドル湯水混合水栓→台付 2 ハンドル湯水混合水栓



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説表 2　B 形給水栓規格の変遷（続き）**

⑭　横形ロータンクボールタップ→横形ロータンク用ボールタップ
⑮　立形ロータンクボールタップ→立形ロータンク用ボールタップ
⑯　壁付き化学水栓→壁付化学水栓
⑰　台付き化学水栓→台付化学水栓
⑱　壁付きサーモスタット湯水混合水栓→壁付サーモスタット湯水混合水栓
⑲　台付きサーモスタット湯水混合水栓→台付サーモスタット湯水混合水栓
⑳　壁付きミキシング湯水混合水栓→壁付ミキシング湯水混合水栓
㉑　台付きミキシング湯水混合水栓→台付ミキシング湯水混合水栓
㉒　壁付きシングルレバー湯水混合水栓→壁付シングル湯水混合水栓
㉓　台付きシングルレバー湯水混合水栓→台付シングル湯水混合水栓
㉔　*印の付いているものは，節水こまを組み込むことができる種類である。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 복사 및 무단 배포를 금합니다.



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

**3.3　性能**（本体の **5.**）　今回の改正で，“基本性能”と“付加性能”を区分する明確な理由がないため，性能として一つの項目にまとめることとした。性能に関する補足説明を，次に示す。

**a)**　新たに，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓を追加したことによって，“絶縁性能”及び“消費電力”を追加した。また，緊急止水装置付きのホース接続形水栓を追加したことによって，“緊急止水性能”を追加した。

**b)**　“洗浄性能”は水受け容器がもつべき性能であり，給水栓は，その性能を補完するものであることから，“吐水性能”が適切と判断し，“洗浄性能”から“吐水性能”に変更した。

**c)**　性能規定項目は，**JIS S 3200** の規格番号順に合わせるため，一部項目の順序を入れ替えて，次のとおり改正した。

**1)**　耐圧性能
**2)**　耐寒性能
**3)**　水撃限界性能
**4)**　逆流防止性能
**5)**　負圧破壊性能
**6)**　耐久性能
**7)**　浸出性能
**8)**　操作性能
**9)**　吐水性能
**10)**　止水性能
**11)**　緊急止水性能
**12)**　自動温度調整性能
**13)**　絶縁性能
**14)**　消費電力
**15)**　定量止水性能

**d)**　近年，節水形の小便器（スプレッダー式小便器など）も市場に普及しつつあることから，“節水形小便器用洗浄弁”の規格化も検討したが，小便器との組み合わせを考慮した性能規定など，まだ問題が残っており，今回の改正では時期尚早とのことから採用を見送り，次回の検討課題とした。

**3.3.1　絶縁性能**（本体の **5.13**）　今回の改正で，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓を追加したことによって，新たに“絶縁性能”を規定した。

電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓は，強制法規としての電気用品安全法，電気用品の技術上の基準を定める省令の適用外であるが，**JIS A 4422**（温水洗浄式便座）に規定されている絶縁性能を引用することとした。

**3.3.2　消費電力**（本体の **5.14**）　今回の改正で，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓を追加したことによって，絶縁性能と同様に **JIS A 4422** に規定されている消費電力に準拠することとした。

**3.4　構造・形状・寸法**（本体の **6.**）　構造・形状・寸法に関する補足説明は，次のとおりである。

**a)**　電気開閉式を新たに規定することから，“電気開閉式とすることができる。”を追加した。

**b)**　水栓の構造・形状・寸法（本体の **6.2**），ボールタップの構造・形状・寸法（本体の **6.3**）及び洗浄弁・洗浄水栓 の構造・形状・寸法（本体の **6.4**）の補足説明は，次のとおりである。

**1)**　従来，**附属書 3** は，主要寸法と取付部の主要寸法をまとめて規定しているが，**附属書 1** 及び**附属書 2** は，それぞれ“水栓及び洗浄弁の主要寸法”，“水栓の取付部の主要寸法”と別々に規定している



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

ため，整合性がなく，分かりにくいとの意見があり，本体**表 1**（種類，呼び径及び補助区分）（本体の **4.**）の区分に合わせて，**附属書 1**（**規定**）（単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法），**附属書 2**（**規定**）（止水栓の主要寸法），**附属書 3**（**規定**）（ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の主要寸法）と改め，それぞれの附属書に取付部の主要寸法と取付部以外の主要寸法を規定した。

**2)** **附属書 1 図 1** は，従来の“立水栓”に“台付シングル湯水混合水栓”を追加し，題名を“台付水栓の主要寸法”と改め，新たに規定した。また，今回の改正で，“分岐口付”，“分岐形”を追加したことによって，**附属書 1 図 2** に新たに“分岐接続口の主要寸法”を規定した。

従来，**附属書 2 図 1** に規定されていた“水栓の取付部の主要寸法”を**附属書 1 図 3** に加え，さらに“つばが一体の場合”，“台付化学水栓の場合”などのように形状又は種類で区分していたが，“めねじ接続の場合”及び“おねじ接続の場合”に区分を改め，前者に“袋ナット式”を，後者に“ユニオン式”を新たに追加した。

“参考”寸法及び台付き化学水栓などのねじ長さ“$l_2$”は，互換性の観点から，特に必要な寸法ではないと判断し，削除することとした。また，腰高止水栓のねじ寸法“$d_4$”は，従来，**附属書 1 図 3** に規定されていた“腰高止水栓の主要寸法”と重複していることから，削除し，**附属書 2 図 4** に移動することとした。また，市場に普及している製品には，様々な種類のねじを使用しているので，見直すべきとの意見から，現状に合わせてねじ種類を追加し，**附属書 1 図 3** に規定した。

**3)** **附属書 2** は，従来の“**附属書 1 図 2**”及び“**附属書 1 図 3**”に規定しているそれぞれ“アングル形及びストレート形止水栓の主要寸法”，“腰高止水栓の主要寸法”に加え，新たに追加した種類の“Y 形止水栓”及び“分岐止水栓”を“単水栓及び湯水混合水栓の主要寸法”と区別するために題名を“止水栓の主要寸法”として規定した。**附属書 2** の補足説明は，次のとおりである。

**3.1)** アングル形，ストレート形止水栓の主要寸法は，取付ねじの種類の追加による混乱を避けるため，“給水管及び接続管”を取り付けた場合と除いた場合の主要寸法に分けて規定するとともに，補助区分で追加した“分岐形”“分岐口付”の主要寸法についても新たに規定した。

**3.2)** アングル形，ストレート形止水栓の取付ねじは，“呼び径 13・R$^1/_2$”以外のねじも市場で使用されているとの意見があり，現状に合わせて“呼び径 20”を追加するとともに，接続管径を$\phi$19.3，$\phi$12.7 の 2 種類を新たに規定した。また，市場で多く使用されている“フレキシブル接続管の主要寸法”を追加した。

**3.3)** 取付ねじの G ねじには，“おねじ”と“めねじ”があり，分かりやすくするため，それぞれねじの種類を明記することとした。

**4)** **附属書 3** は，“大便器洗浄弁の主要寸法”を明確にするため，新たに**附属書 3 図 2** に規定し，また，従来，**附属書 1 図 4** に規定されていた“小便器洗浄弁及び小便器洗浄水栓の主要寸法”を，**附属書 3 図 3** に追加した。

**附属書 3** の補足説明は，次のとおりである。

**4.1)** **表 1** に“立形ロータンク用ボールタップ”を規定しているため，**附属書 3 図 1** に“立形ロータンク用ボールタップの主要寸法”を追加した。

**4.2)** 従来，**附属書 2 図 1** に規定されていた“参考”寸法及び取付長さ・ねじ長さの最小寸法“$l_1$”，“$l_2$”，“$l_3$”は，互換性の観点から，特に必要な寸法ではないと判断し，削除することとした。

**4.3)** 従来，**附属書 3 図 1** に規定されていた“横形ボールタップの取付部は，$l_3$，$d_3$によることができる。”は，**JIS** ねじであることから，規定する必要性がないと判断し，全文を削除することとした。

**4.4)** 従来，**附属書 3 図 1** に規定されていた“$l$ 寸法は，つば裏から吐水口中心までとする。”は，**図 1**



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

で理解できるため，全文を削除することとした。

**4.5)** 従来，**附属書 1 図 4** に規定されていた“$\phi d$ 寸法の 15.88”は，“16”と近似値であるため，削除した。

**4.6)** **“附属書 3 図 2** 大便器洗浄弁の主要寸法”に，主として温水洗浄式便座の給水口などに使用される“分岐口付”を規定した。

**4.7)** 従来，**附属書 7 図 1 備考 3. b)**において，吐水口空間は，“越流面が横取出しのときは，越流管内径の中心面とする”とあるが，社団法人空気調和・衛生工学会の基準 SHASE-S 206(給排水設備基準)では，“吐水口からオーバーフロー管最下端”を吐水口空間と定義付けており，SHASE-S 206 に合わせて修正する必要があり，併せて，吐水口空間の数値を修正する必要があるのではないか。との意見があった。

社団法人空気調和・衛生工学会では，現在，吐水口空間の考え方について再検討することで，委員会を設けて実証試験を実施しているので，その結果を受けて，見直しすることとした。

**5)** 適切に表現するため，“鋭角部及び素肌を傷つけるような突起物がないこと。”を“素肌を傷つけるような鋭角部及び突起物がないこと。”に改めた。

**6)** “上げ止水方式”は 2003 年 3 月 31 日をもって，すべて“下げ止水方式”に統一されたことから，規定から削除した。

なお，構造・形状の違いによって，開閉レバーが胴の上部ではなく左右に付く商品もあり，この場合の開閉操作方向は，上下ではなく左右となる。

この場合，レバーが向かって右に位置するときは左側にレバーを操作して止水する方式を，レバーが向かって左に位置するときは右側にレバーを操作して止水する方式を“下げ止水方式”という。

**7)** “単水栓の湯及び水の区分表示”は，表示の項目に該当することから“本体表示（本体の **11.1**）”に移動した。

**8)** 適切に表現するため，“一時止水構造の湯水混合水栓は湯側･水側の逆流防止装置を付けなければならない。”を“一時止水構造の 2 ハンドル湯水混合水栓，サーモスタット湯水混合水栓及びミキシング湯水混合水栓は，湯側・水側の逆流防止装置を付けなければならない。” に改めた。

**9)** ハンドシャワーをもった単水栓もあることから，“ホース接続形水栓及びハンドシャワーの付いた湯水混合水栓…。”を“ホース接続形水栓，ハンドシャワーの付いた水栓…。”に変更した。

**10)** 逆流防止装置を付けなければならない水栓に，“元止め式専用水栓”を追加した。

**11)** 高圧給水が増加している状況の中で，水撃（ウオータハンマ）の発生率が高くなっていることから，“水撃低減装置”を追加した。

**12)** “ストレーナ”は一般的に“フィルタ”とも呼ぶので，“ストレーナ（フィルタ）”に変更した。

**13)** 寒冷地においては，従来から，水栓に水抜き可能な逆流防止装置を内蔵するものと併せて，水栓に逆流防止装置を付けず，水栓の上流側に，別途，逆流防止装置を設ける施工方式を採用していることから，従来どおり，寒冷地に限っては，逆流防止装置の付かないものも，規格品として取扱うこととし，逆流防止装置が付いていないことを明確にするため，水栓の本体又は包装に“寒・逆止無”の表示を必ず行うこととした。

**14)** ホース接続形で緊急止水装置を設けることが多くなってきたため，“さらに，ホース接続形の場合には，緊急止水装置を設けることができる。”を追加した。

**3.5 材料**（本体の **7.**） 1997 年 6 月の改正では，種類の対象が拡大し，使用部品の多様化と新しい部品が採用される可能性が大幅に高くなったことから，材料規定を全面的に見直すこととなった。今回の改正



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

で，特に改正の必要性はないことから，従来どおりこの基本的考え方を踏襲することとした。

なお，“電気開閉式”を新たに規定したため，“電気開閉式の場合”を追加した。

今回の改正原案作成委員会において，“水質によっては，ゴムの劣化が従来より早い場合がある。この規格に給水栓に使用するゴムの規定を入れるべきではないか。”との意見があった。

1984 年の規格改正で，構造・形状・寸法・材料を主体とした規格から，品質・性能・互換性寸法を主体にした性能規格に改正した。しかし，性能規格を前提として個々に対応しているにもかかわらず，水質によっては，ゴムの劣化などによるトラブルが発生していることから，社団法人日本バルブ工業会などにおいて，ゴム材料の劣化問題について調査研究を進めており，ゴム材料の規定に関しては，今後の検討課題とした。

**3.6　試験方法**（本体の **8.**）　今回の改正で，電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い“絶縁抵抗試験方法”を追加し，“性能（本体の **5.**）”で“洗浄性能”を“吐水性能”に変更したことから，“洗浄性能試験”も同様に“吐水性能試験”に変更した。

**JIS S 3200-1～7**，給水装置の構造及び材質の基準にかかわる試験を定める件（平成 9 年厚生省告示第 111 号。以下，厚生省告示という。）で規定する試験方法を引用しているため，**JIS S 3200** の改正によってこの規格の改正が発生する。したがって，改正作業の効率化の観点から，**JIS S 3200** と重複している部分を削除し，**JIS B 2061** 特有の試験方法だけを規定することとした。また，性能試験項目は，**JIS S 3200** の規格番号順に合わせるため，一部項目の順序を入れ替えて，次のとおり改正した。

**a)**　耐圧性能試験
**b)**　耐寒性能試験
**c)**　水撃限界性能試験
**d)**　逆流防止性能試験
**e)**　負圧破壊性能試験
**f)**　耐久性能試験
**g)**　浸出性能試験
**h)**　操作性能試験
**i)**　吐水性能試験
**j)**　止水性能試験
**k)**　緊急止水性能試験
**l)**　自動温度調整性能試験
**m)**　絶縁性能試験
**n)**　消費電力試験
**o)**　定量止水性能試験

**3.6.1　水撃限界性能試験**（本体の **8.3**）　電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い，“供試品のハンドルを所定の時間で閉止したとき”という表現を，“供試品のシートを所定の時間で閉止したとき”とした。また，本体の**表 5**（水撃限界性能試験の条件）の区分に，“電気開閉式”を追加した。

**3.6.2　耐久性能試験**（本体の **8.6**）　電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い，“10 万回のハンドルの開閉操作”という表現を“10 万回のシートの開閉操作”に改めた。

**3.6.3　浸出性能試験**（本体の **8.7**）　浸出性能試験方法は，今回の改正で，**JIS S 3200** と重複している部分を削除したことから，“**附属書 4**”を本体の **8.7** に統合した。また，試料液の調製作業を分かりやすく表



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

現するため，“試料液の調製についての作業日程の例”を追加した。

浸出性能試験に関して，厚生労働省省令及び告示の解説書の関係部分の引用などによる補足説明を，次に示す。

**a)** **器具試験における内部部品の取扱い**　器具試験において，複雑な内部部品を組み込んだ器具など（シングル湯水混合水栓，サーモスタット湯水混合水栓，逆流防止装置を組み込んだ水栓，台所用・洗面所用シャワー形水栓など）の場合，浸出液の封入において，水との接触部分すべてに浸出液を満たすことができないものがあり，試験が不可能となる。したがって，このような場合は，内部部品などを取り外して試験を行ってもよい。ただし，浸出性能に影響を及ぼすと思われる内部部品などは，別途，部品試験を行う必要がある。

なお，この場合，内部部品を取り外した器具は，器具の部品とみなして，試験の分析結果を器具の分析結果に換算しなければならない。

**b)** **止水栓の試料液**　止水栓の試料液の調製については，**JIS S 3200-7** で規定する“配管途中に設置される給水用具（加熱した水を通水することを目的としたもの）”を適用する。この 止水栓は，常温水又は加熱水のいずれにも用いられるものであることから，**JIS S 3200-7** では，“常温水は加熱水のいずれにも用いられる配管途中に設置される給水用具は，加熱した水を通水することを目的とした場合の方法だけでよい”と規定している。

**c)** **分析項目**　本体の**表 3** で示す浸出性能の判定基準項目のうち，味，臭気，色度及び濁度については，すべての器具，部品又は材料について分析を行うことになるが，その他の項目については，水と接触する部分に使用されている材料の成分及びその材料の原料の成分のうち，浸出する可能性のあるものについてだけ分析を行えばよい。

味，臭気，色度及び濁度以外の分析項目を具体的に判断するに当たっての基本的な考え方を，次に示す。

**1)** **金属材料**　**JIS** 又はその他の規格（国際規格及び海外規格も含む。）において，すべての成分が規定されている金属材料の場合は，原則として規定されている成分のうち，判定基準項目に該当するものについて分析を行えばよい。一例を，**解説参考表 1** に示す。

なお，**JIS** 又はその他の規格で規定されていない材料の場合は，判定基準項目のうち浸出する可能性のある物質すべてについて分析を行う。ただし，成分試験などによって，材料又はその原料に含有されていないことが証明されている場合，又は試験を実施しても浸出する量が基準値の 1/10 以下であることが証明できる場合は，分析しなくてもよい。

**解説参考表 1　JIS 材料の場合の例**

| 材料の例 | 分析項目 |
|---|---|
| 銅（**JIS H 3100** の C1220） | 銅 |
| 銅合金（**JIS H 5120** の CAC406） | 銅，亜鉛，鉛，カドミウム |
| ステンレス鋼（**JIS G 3459** の SUS304，316） | 鉄，六価クロム |
| 鋳鉄及び鋼（**JIS G 3101**） | 鉄 |

**備考**　座金，スプリングなどとして使用されているステンレスで，接触面積比がおおむね 10 $cm^2$/L 以下のものについては，上記分析項目について分析しなくてもよい。

**2)** **金属以外の材料**　判定基準項目のうち，浸出する可能性のある物質すべてについて分析を行う。ただし，成分試験などによって，材料又はその原料に含有されていないことが証明されている場合，又は試験を実施しても浸出する量が基準値の 1/10 以下であることが証明できる場合は，分析しなく



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

てもよい。ただし，**解説参考表 2** の分析項目については分析を行う。

**解説参考表 2　代表的なゴム，樹脂などの分析項目の例**

| 材料の例 | | 分析項目 |
|---|---|---|
| ゴム | EPDM（エチレンプロピレンジエンゴム） | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，フェノール類，亜鉛 |
| | NBR（アクリロニトリルブタジエンゴム） | |
| | SBR（スチレンブタジエンゴム） | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，亜鉛 |
| | FKM（ふっ素ゴム） | |
| | Q（シリコンゴム） | |
| 合成樹脂 | ABS（アクリロニトリル，ブタジエン，スチレン共重合体樹脂） | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］ |
| | POM（ポリアセタール樹脂） | |
| | PE（ポリエチレン樹脂） | |
| | PPE（ポリフェニレンエーテル樹脂） | |
| | PPS（ポリフェニレンサルファイト樹脂） | |
| | PTFE（ポリテロラフルオロエチレン樹脂） | |
| | PA（ポリアミド樹脂） | |
| | PBT（ポリブチレンテレフタレート樹脂） | |
| | PVC（塩化ビニル） | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，鉛，亜鉛 |
| 合成樹脂塗料 | 一液性エポキシ樹脂 | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，フェノール類，シアン，エピクロロヒドリン，アミン類，ホルムアルデヒド，酢酸ビニル，スチレン，1,2-ブタジエン，1,3-ブタジエン |
| | 二液性エポキシ樹脂 | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，フェノール類，シアン，エピクロロヒドリン，アミン類，ホルムアルデヒド，2,4-トルエンジアミン，2,6-トルエンジアミン，酢酸ビニル，スチレン，1,2-ブタジエン，1,3-ブタジエン |
| | アクリル樹脂 | 有機物［全有機炭素(TOC)の量］，ホルムアルデヒド，酢酸ビニル，スチレン，1,2-ブタジエン，1,3-ブタジエン |

**備考1.**　添加剤などとして，判定基準項目に該当する物質を含有している場合は，それらについても分析を行う検討の対象とする。

**2.**　パッキン，ガスケットなどとして使用されているゴム及び樹脂で，接触面積比がおおむね 10 $cm^2$ /L 以下のものについては，表のうち有機物［全有機炭素(TOC)の量］，フェノール類以外は分析しなくてもよい。

**3)　その他**　水と接触する部分がライニングされているものについては，ライニング材の成分だけを分析の対象とすればよい。ただし，めっき（溶融めっきを除く。）及び塗装の場合は，地金などの本体材料の成分も分析の対象とする。

**d)　分析結果の補正**　分析結果の補正に関する換算方法及び補正値の算出方法の例を，次に示す。ただし，内部構造の複雑な器具，構造の複雑な内部部品などの水との接触面積の厳密な計算が不可能な場合は，単純な形状に置き換えて計算してもよい。

**1)　評価対象器具の補正値の算出方法の例**　供試器具の分析結果から，評価対象器具の補正値の算出方法の例を，次に示す。

**1.1)　前提条件**　供試器具［単水栓（接水面積 35.2 $cm^2$，接水容積 11.3 $cm^3$）］を評価器具［単水栓（接水面積 320.5 $cm^2$，接水容積 258.1 $cm^3$）］に補正する。

なお，供試器具の分析結果は，**解説参考表 3** のとおりである。



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説参考表 3　供試器具の分析結果**

| 供試器具の分析結果 |
|---|
| 味　　：異常なし |
| 臭気　　：異常なし |
| 色度　　：0.3 度 |
| 濁度　　：0.4 度 |
| 銅　　：0.45 mg/L |
| 亜鉛　　：0.33 mg/L |
| 鉛　　：0.036 mg/L |
| カドミウム：0.001 mg/L |
| 有機物［全有機炭素(TOC)の量］：0.675 mg/L |

**1.2)　補正式**　供試器具の分析結果から，評価対象器具の補正値を算出する補正式は，次のとおりとする。

$$\rho_B = NF \times C'$$

$$NF = \frac{SAF}{SAL} \times \frac{VL}{VF}$$

ここに，　$\rho_B$：　評価対象器具の補正値（mg/L 又は度）

$C'$：　供試器具の分析結果（mg/L 又は度）

$NF$：　補正係数

$SAF$：　評価対象器具における水が接触する部分の表面積（$cm^2$）

$SAL$：　供試器具における浸出液が接触する部分の表面積（$cm^2$）

$VL$：　供試器具における浸出液が接触する部分の内容積（L）

$VF$：　評価対象器具における水が接触する部分の内容積（L）

**備考**　$VF$ が 1 L 以下の場合には，$VF$ は 1 L とする。

**1.3)　補正**　供試器具の分析結果から，評価対象器具の補正値を求める算出は，前記 **1.1)**及び **1.2)**に基づき，**解説参考表 4** のとおりとする。

**解説参考表 4　評価対象器具の補正値の算出**

| 分析項目 | 換算式による計算過程 | 換算結果 |
|---|---|---|
| 味 | 異常なし | →異常なし |
| 臭気 | 異常なし | →異常なし |
| 色度 | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.3$ | →0.031 度 |
| 濁度 | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.4$ | →0.041 度 |
| 銅 | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.45$ | →0.046 mg/L |
| 亜鉛 | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.33$ | →0.034 mg/L |
| 鉛 | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.036$ | →0.003 7 mg/L |
| 有機物［全有機炭素(TOC)の量］ | $\frac{320.5}{35.2} \times \frac{0.011\ 3}{1} \times 0.001$ | →0.069 5 mg/L |



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**2)　部品試験又は材料試験による分析結果を，器具としての分析結果へ換算する場合の換算方法の例**

**2.1)　評価対象器具**　評価対象器具は，単水栓とし，水が接触する部分の内容積は，25 $cm^3$ とする。また，接水各部品の詳細は，**解説参考表 5** のとおりとする。

**解説参考表 5　評価対象器具の接水各部品の詳細**

| 部品名 | 材料名 | 接水面積（$cm^2$） |
|---|---|---|
| 本体 | 青銅鋳物 | 30 |
| 吐水管 | 黄銅管 | 40 |
| スピンドル | 黄銅棒の切削 | 4 |
| パッキン | EPDM | 1 |
| こま | 黄銅棒の切削 | 1 |

**2.2)　部品試験又は材料試験による分析結果**　部品試験又は材料試験による分析結果を，**解説参考表 6** に示す。

**解説参考表 6　評価対象器具の部品試験又は材料試験による分析結果**

| 供試部品名 | 試験条件 | 分析結果 |
|---|---|---|
| 本体（部品試験） | 接水面積 30 $cm^2$<br>接水容積 10 $cm^3$ | 味　：異常なし<br>臭気　：異常なし<br>色度　：0.2 度<br>濁度　：0.3 度<br>銅　：0.12 mg/L<br>亜鉛　：0.26 mg/L<br>鉛　：0.028 mg/L<br>カドミウム：0 mg/L |
| 吐水管（部品試験） | 接水面積 40 $cm^2$<br>接水容積 15 $cm^3$ | 味　：異常なし<br>臭気　：異常なし<br>色度　：0.1 度<br>濁度　：0.1 度<br>銅　：0.01 mg/L<br>亜鉛　：2.50 mg/L<br>鉛　：0.006 mg/L<br>カドミウム：0 mg/L |
| スピンドル（部品試験） | 接水面積 10 $cm^2$（1 個）<br>接水容積 30 $cm^3$ | 味　：異常なし<br>臭気　：異常なし<br>色度　：0.2 度<br>濁度　：0.4 度<br>銅　：0.06 mg/L<br>亜鉛　：1.70 mg/L<br>鉛　：0.018 mg/L<br>カドミウム：0 mg/L |
| パッキン（材料試験） | 接水面積 10 $cm^2$<br>接水容積 30 $cm^3$ | 味　：異常なし<br>臭気　：異常なし<br>色度　：0.5 度<br>濁度　：0.7 度<br>有機物［全有機炭素(TOC)の量］：10 mg/L<br>フェノール類：0.001 2 mg/L<br>亜鉛　：0.22 mg/L |



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説参考表 6　評価対象器具の部品試験又は材料試験による分析結果（続き）**

| 供試部品名 | 試験条件 | 分析結果 |
|---|---|---|
| こま（部品試験） | 接水面積 20 $cm^2$（4 個）<br>接水容積 50 $cm^3$ | 味　　：異常なし<br>臭気　　：異常なし<br>色度　　：0.1 度<br>濁度　　：0.1 度<br>銅　　：0.05 mg/L<br>亜鉛　　：1.50 mg/L<br>鉛　　：0.015 mg/L<br>カドミウム：0 mg/L |

**2.3)　換算式**　部品試験又は材料試験による分析結果を器具としての分析結果に換算する場合の換算式は，次のとおりとする。

$$C = \frac{\Sigma N_i}{V_F}$$

$$N_i = \frac{S_{Fi} \times A_i \times V_{Li}}{S_{Li}}$$

ここに，　$C$：　器具としての分析結果（mg/L 又は度）

$N_i$：　器具の状態における部品又は材料ごとの浸出量（mg 又は度）

$V_F$：　器具の状態における水が接触する部分の内容積（L）

$S_{Fi}$：　器具の状態における部品又は材料ごとの水が接触する部分の表面積（$cm^2$）

$A_i$：　供試部品又は供試材料ごとの分析結果（mg/L）

$V_{Li}$：　供試部品又は供試材料ごとの試験に用いた浸出液の体積（L）

$S_{Li}$：　供試部品又は供試材料ごとの浸出液が接触する部分の表面積（$cm^2$）

**2.4)　換算**　部品試験又は材料試験による分析結果を器具としての分析結果への換算は，前記 **2.1)～2.3)** に基づき，**解説参考表 7** のとおり換算する。

なお，換算によって求められた各物質の換算結果について，1 L 補正など必要な補正計算を行って評価する。



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**解説参考表 7　部品試験又は材料試験による分析結果を器具としての分析結果へ換算**

| 分析項目 | 換算式による計算過程 | 換算結果 |
|---|---|---|
| 色度 | $\left[\frac{30\times0.2\times0.01}{30}+\frac{40\times0.1\times0.015}{40}+\frac{4\times0.2\times0.03}{10}+\frac{1\times0.5\times0.03}{10}+\frac{1\times0.1\times0.05}{20}\right]\div0.025$ | 0.306 度 |
| 濁度 | $\left[\frac{30\times0.3\times0.01}{30}+\frac{40\times0.1\times0.015}{40}+\frac{4\times0.4\times0.03}{10}+\frac{1\times0.7\times0.03}{10}+\frac{1\times0.1\times0.05}{20}\right]\div0.025$ | 0.466 度 |
| 銅 | $\left[\frac{30\times0.12\times0.01}{30}+\frac{40\times0.01\times0.015}{40}+\frac{4\times0.06\times0.03}{10}+\frac{1\times0.05\times0.05}{20}\right]\div0.025$ | 0.088 mg/L |
| 亜鉛 | $\left[\frac{30\times0.26\times0.01}{30}+\frac{40\times2.50\times0.015}{40}+\frac{4\times1.70\times0.03}{10}+\frac{1\times0.22\times0.03}{10}+\frac{1\times1.50\times0.05}{20}\right]\div0.025$ | 2.60 mg/L |
| 鉛 | $\left[\frac{30\times0.028\times0.01}{30}+\frac{40\times0.006\times0.015}{40}+\frac{4\times0.018\times0.03}{10}+\frac{1\times0.015\times0.05}{20}\right]\div0.025$ | 0.025 mg/L |
| 有機物［全有機炭素(TOC)の量］ | $\left[\frac{1\times10.0\times0.03}{10}\right]\div0.025$ | 1.2 mg/L |
| フェノール類 | $\left[\frac{1\times0.0012\times0.03}{10}\right]\div0.025$ | 0.000 1 mg/L |

**3)　浸出性能を一括して評価できる製品群**　浸出性能試験においては，供試器具と①使用材料の材質が同等で，②構造及び製造方法が類似しており，かつ，③水との接触面積比が供試器具の接触面積比以下の製品であれば，浸出性能試験を行わなくとも，前記 **2)**による補正計算によって補正値を算出できることになっている。すなわち，すべての製品で浸出性能試験を行わなくとも，①～③の条件を満たしていれば，代表製品でだけ試験を行い，当該製品について一括に浸出性能を評価してよいこととしており，試験の効率化が可能となっている。

浸出性能を一括して評価できる製品群の判断のうち，“水との接触面積比が供試器具の接触面積比以下の製品”は，計算によって判断できるが，“使用材料の材質の同等性”及び“構造及び製造方法の類似性”の判断が難しいので，“使用材料の材質の同等性”及び“構造及び製造方法の類似性”の判断の目安を，次に示す。

**3.1)　使用材料の材質**　使用材料の材質は，青銅，黄銅，銅，ステンレス鋼，鋼，ゴム，樹脂，セラミックなどに分類される。ここで，同じ分類であっても，含有成分比が異なる場合は，異なる材質として取り扱う。

**備考1.**　**JIS** などによる材料規格（国際規格及び海外規格も含む。）で，含有成分比が規定されている場合，当該規格適合材料は，同一材質とみなすことができる。ただし，この場合の当該規格適合材料とは，当該規格で規定する同一材料記号によるものをいう。

**2.**　座金，スプリングなどとして使用されるステンレス鋼で，水との接触面積比がおおむね 10 $cm^2$/L 以下のものについては，その材質の差異を考慮しなくともよい。

**3.**　パッキン，ガスケットなどとして使用されるゴム及び樹脂で，水との接触面積比がおおむね 10 $cm^2$/L 以下のものについては，その材質の差異を考慮しなくともよい。

**3.2)　構造**　構造は，単水栓，サーモスタット湯水混合水栓・ミキシング湯水混合水栓，シングル湯水



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。
2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

混合水栓，2 ハンドル湯水混合水栓，止水栓及びボールタップに分類する。

**3.3)** **製造方法** 製造方法は，鋳造，鍛造，棒材の切削，管材及び板材の加工，ゴム成形，樹脂成形，セラミック成形などに分類する。

**3.4)** **製品群の具体例** 前記 **3.1)**～**3.3)**に基づく製品群の分類の具体例を，**解説参考表 8** に示す。ただし，座金，スプリング，パッキン，ガスケットなどについては，材質及び製造方法を省略している。

なお，**解説参考表 8** で示す製品群の分類の具体例は，あくまでも代表的な製品の事例であるので，実際の評価に当たっては，個々の製品に応じて，その構成部品の材質，製造方法などを十分検討する必要がある。

**解説参考表 8 製品群の分類の具体例**

| 構造 | 主要部品の材質及び製造方法 | 種類の例 |
|---|---|---|
| 単水栓 | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削） | 横水栓 |
| | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削），<br>黄銅（管材の加工） | 立水栓（自在形） |
| | 黄銅（鋳造），黄銅（棒材の切削） | 横水栓 |
| サーモスタット湯水混合水栓・ミキシング湯水混合水栓 | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削）<br>黄銅（管材の加工） | 壁付サーモスタット湯水混合水栓 |
| | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削）<br>黄銅（管材の加工），樹脂（樹脂成形） | 壁付サーモスタット湯水混合水栓<br>（シャワー形） |
| シングル湯水混合水栓 | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削），<br>セラミック（セラミック成形） | 台付シングル湯水混合水栓 |
| | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削），<br>セラミック（セラミック成形），<br>樹脂（樹脂成形） | 台付シングル湯水混合水栓<br>（シャワー形） |
| 止水栓 | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削） | アングル形止水栓 |
| ボールタップ | 青銅（鋳造），黄銅（棒材の切削） | 横形ボールタップ |

**3.6.4 操作性能試験**（本体の **8.8**） 電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い，“手動によって開閉・切替え操作を行う”という表現を，“手動などの実使用に基づき開閉・切替え操作を行う”と改めた。

**3.6.5 吐水性能試験**（本体の **8.9**） “洗浄性能”を“吐水性能”に統合したことによって，従来の“洗浄性能試験”を“吐水性能試験”に統合した。また，電気開閉式の洗浄弁を新たに規定したことから，前洗浄の機能をもっている洗浄弁の吐水開始から停止までの 1 サイクル当たりの吐水量を明確にするため，“自動洗浄の場合は，前洗浄を含まない。”を規定した。

**3.6.6 止水性能試験**（本体の **8.10**） 空気圧による試験は水圧による試験の代替試験であるため，“ただし，空気圧によって試験を行う場合は，～”の記述を，“～0.75 MPa の水圧を加え，1 分間持続して行う。”に続けて記述し，より分かわかりやすく規定した。

**3.6.7 絶縁性能試験**（本体の **8.13**） 電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い，絶縁性能の確認をするために次の試験方法を，**JIS A 4422** の絶縁性能試験を引用し追加規定した。

**a)** 絶縁抵抗試験

**b)** 耐湿絶縁抵抗試験

**c)** 耐電圧試験

**3.6.8 消費電力試験**（本体の **8.14**） 電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓の追加に伴い，絶縁性能試験と同様に，**JIS A 4422** の消費電力試験を引用し追加規定した。



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**3.7　検査**（本体の **9.**）　検査は，従来どおり，形式検査と受渡検査とに区分して規定した。

**3.7.1　形式検査**（本体の **9.2**）　形式検査に関する補足説明は，次のとおりである。

**a)** 形式検査は，製品の種類別及び呼び径別に設計後，最初の製品を 1 回だけ最低 1 個について行い，その結果を記録するとともに，その記録を保管する。

なお，形式検査後において，性能に影響を及ぼすような構造，形状，寸法，材料などの変更があった場合は，再度，形式検査を行う必要がある。

**b)** 今回の改正で，緊急止水装置付きのホース接続形水栓を追加したことから，形式検査項目に“緊急止水性能検査”を追加した。

**c)** 今回の改正で，電気開閉式を追加したことなどから，形式検査項目に“絶縁性能検査”及び“消費電力検査”を追加した。

**3.7.2　受渡検査**（本体の **9.3**）　受渡検査は，出荷時に必ず行わなければならない項目とし，今回の改正で，新たに“緊急止水性能検査”及び“絶縁性能検査”を追加し，次のとおりとした。

**a)** 耐圧性能検査

**b)** 逆流防止性能検査

**c)** 操作性能検査

**d)** 止水性能検査

**e)** 緊急止水性能検査

**f)** 絶縁性能検査

**g)** 構造検査

**h)** 表示検査

**3.8　製品の呼び方**（本体の **10.**）　製品の呼び方は，従来どおり，本体の**表 1** で示す種類及び呼び径の後に（　）を用いて，必要に応じた補助区分及び本体の**表 7** で示すような機能の名称を付記し，補助区分及び機能については，必要なものをすべて付記することとした。

**3.9　表示**（本体の **11.**）　表示は，従来どおり，本体表示と包装表示とに区分して，必要な表示事項を規定した。

**3.9.1　本体表示**（本体の **11.1**）　本体表示に関する補足説明は，次のとおりである。

**a)** “単水栓の湯水区分表示及び止水栓などの流れ方向表示”は，本体への表示に該当することから，“水栓の構造”から“本体表示”に移動した。

**b)** 従来，“ねじの等級の種類”は，“本体表示”と“包装表示”の項目に規定されていたが，こん（梱）包状態にて G ねじ接続であることが判別できるようにすれば施工の不具合を防止できるため，包装表示の項に集約した。また，ねじの等級は給水栓の場合，“2 級ねじ”が一般的であり，施工者側から見てもねじの等級表示の必要性はないと判断し，“ねじの等級の種類”を“ねじの種類”に改めた。

**c)** 本体に表示する場合の“容易にはく離しない方法”とは，打刻，鋳出し，印刷，エッチング，証紙（シール）のちょう（貼）付，レーザー加工などをいう。

**3.9.2　包装表示**（本体の **11.2**）　包装表示に関する補足説明は，次のとおりである。

**a)** 一般的に国内の給水栓取付ねじは $R_c$・$R_p$・G のすべてのめねじに接続できるよう，この規格で制定している PJ（おねじ）を採用しているが，商品の施工状況によっては G おねじを採用する場合がある。G おねじを $R_c$・$R_p$ めねじへ接続した場合，ねじ公差・ねじ基本径位置によって接続できない状況が発生する。それを事前に防止するため，こん（梱）包状態にて“G ねじ表示”をすることとした。

**b)** さらに止水栓の場合は，配管部材として使われる商品でもあり，使用実態を考慮し，“流入側及び流出



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

側のねじの種類”及び“おねじ，めねじの区分若しくは接続管径”までを表示することとした。

**c)** “種類，補助区分及び機能の略称”は，“種類，呼び径及び補助区分（本体の **4.**）”で，“浄水器用・電気温水器用”の追加などに伴い，変更・追加を行った。

**3.10 取扱説明書**（本体の **12.**） 今回の改正で，従来，取扱説明書を付ける種類は，一般の使用に際しての取扱いが十分認知されていないと思われるもの，及び使用に際しての安全性を強調すべきものを対象とし，また，必要に応じて取扱説明書の内容を本体に表示，又は別途ラベルを用いて表示してもよいとしていた。当該事項は現状において特に問題ないので，従来どおり，この基本的考え方を踏襲することとした。また，今回の改正で種類の呼び方，機能の追加が行われたため，名称が変更されているが，基本的には，従来どおり取扱説明書を付ける種類をそのまま踏襲することとし，新たに“元止め式専用水栓”，“電気開閉式の水栓，ボールタップ及び洗浄弁・洗浄水栓”を追加した。

**4. 原案作成委員会の構成表** 2003 年に社団法人日本バルブ工業会に組織された，給水栓 **JIS** 改正原案作成委員会の構成表を，次に示す。



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

**給水栓 JIS 改正原案作成委員会 構成表**

| | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|
| (委員長) | 紀谷文樹 | 神奈川大学 |
| (委員) | 増田仁 | 経済産業省製造産業局 |
| | 今浦良夫 | 国土交通省大臣官房官庁営繕部 |
| | 岩永明男 | 経済産業省産業技術環境局 |
| | 染野正貴 | 社団法人空気調和・衛生工学会 |
| | 飯嶋守 | 日本衛生設備機器工業会 |
| | 宮下松雄 | 社団法人日本水道協会 |
| | 秋林徹 | 都市基盤整備公団 |
| | 金子利 | 全国管工事業協同組合連合会 |
| | 兵頭美代子 | 主婦連合会 |
| | 伊東依久子 | 消費科学連合会 |
| | 越島次郎 | 社団法人日本住宅設備システム協会 |
| | 佐竹哲夫 | 東京都水道局 |
| | 青木光 | 横浜市水道局 |
| | 高見享 | 名古屋市上下水道局 |
| | 枝雅克 | 大阪市水道局 |
| | 塔鼻幹雄 | 東陶機器株式会社 |
| | 倉田丈司 | 株式会社 INAX |
| | 西村友志 | 兼工業株式会社 |
| | 松浦勝浩 | 株式会社喜多村合金製作所 |
| | 新木達司 | 株式会社岐阜カクダイ製作所 |
| | 安達正範 | 株式会社 KVK |
| | 鈴木義文 | ジャニス工業株式会社 |
| | 森孝 | 株式会社三栄水栓製作所 |
| | 大谷泰重 | 株式会社タブチ |
| (関係者) | 内田実 | 厚生労働省健康局 |
| | 宮崎文吉 | 東京都水道局 |
| | 高木繁 | 株式会社 INAX |
| | 大森孝治 | 東陶機器株式会社 |
| | 酒井和仁 | 東陶機器株式会社 |
| | 加藤真一 | 株式会社タブチ |
| (事務局) | 比企論 | 社団法人日本バルブ工業会 |

(文責　給水栓 **JIS** 改正原案作成委員会)



著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

★内容についてのお問合せは，規格開発部標準課［**FAX**(03)3405-5541 **TEL**(03)5770-1571］へご連絡ください。

★**JIS** 規格票の正誤票が発行された場合は，次の要領でご案内いたします。

（**1**）当協会発行の月刊誌“標準化ジャーナル”に，正・誤の内容を掲載いたします。

（**2**）原則として毎月第 3 火曜日に，“日経産業新聞”及び“日刊工業新聞”の **JIS** 発行の広告欄で，正誤票が発行された **JIS** 規格番号及び規格の名称をお知らせいたします。

なお，当協会の **JIS** 予約者の方には，予約されている部門で正誤票が発行された場合，自動的にお送りいたします。

★**JIS** 規格票のご注文は，普及事業部カスタマーサービス課［**TEL**(03)3583-8002 **FAX**(03)3583-0462］又は下記の当協会各支部におきましてもご注文を承っておりますので，お申込みください。

JIS B 2061
給水栓

平成 18 年 6 月 20 日　　第 1 刷発行

編集兼
発行人　島　弘志

発　行　所

財団法人　日　本　規　格　協　会

〒107-8440　東京都港区赤坂 4 丁目 1-24

http://www.jsa.or.jp/

**札 幌 支 部**　〒060-0003　札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1　札幌大同生命ビル内
TEL (011)261-0045　FAX (011)221-4020

**東 北 支 部**　〒980-0811　仙台市青葉区一番町 2 丁目 5-22　仙台ウエストビル内
TEL (022)227-8336(代表)　FAX (022)266-0905

**名古屋支部**　〒460-0008　名古屋市中区栄 2 丁目 6-1　白川ビル別館内
TEL (052)221-8316(代表)　FAX (052)203-4806

**関 西 支 部**　〒541-0053　大阪市中央区本町 3 丁目 4-10　本町野村ビル内
TEL (06)6261-8086(代表)　FAX (06)6261-9114

**広 島 支 部**　〒730-0011　広島市中区基町 5-44　広島商工会議所ビル内
TEL (082)221-7023　FAX (082)223-7568

**四 国 支 部**　〒760-0023　高松市寿町 2 丁目 2-10　JPR 高松ビル内
TEL (087)821-7851　FAX (087)821-3261

**福 岡 支 部**　〒812-0025　福岡市博多区店屋町 1-31　ダヴィンチ博多内
TEL (092)282-9080　FAX (092)282-9118

Printed in Japan　　DI/B

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

# Faucets, ball taps and flush valves

JIS B 2061：2006

（JVMA）

Revised 2006-06-20

**Investigated by**

**Japanese Industrial Standards Committee**

**Published by**

**Japanese Standards Association**

**定価 3,360 円（本体 3,200 円）**

**ICS** 23.060.01;91.140.60

**Reference number：JIS B 2061:**2006(**J**)

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

2007-01-12 대림통상(주) 금구공장,대림통상에 라이센스를 부여하며 불법 복사 및 무단 배포를 금합니다.